

始



特

再版豫告

本編は三府及近郊のあらゆる方面に渉り紹介し、遊覽者の羅針盤たらんと期せしも調査の精確を欲せし故に豫期以上の日子を要し一面に發行を急がざるを得ず、爲めに片々たる小冊子素より其の説く所簡にして盡さざるは云ふに及ばず、行文に、取材に杜撰の廉些なからずと思わる是等は大方の叱正を俟つて漸次訂正せんと欲す、仍而更に近く再版増頁を爲し精査中に屬する各種の名物、信用ある諸會社銀行、工場、商店、乃至、旅館、料理店、飲食店、觀覽物、花柳界の内幕に至る迄其他一般の現況を列記して嚴密なる嚮導ならん事を期す、奮つて愛讀の榮を給へ。

發行者謹識

(1)

再版懸賞記事文俳句募集豫告

左記の各項に付き愛読者より投稿を歓迎す

- 一、記事文三府及近郊を漫遊するは如何なる順序が宜敷乎(言文一致記事文三十四字詰二十行限り)
 - 一、東京と近郊を漫遊するの記 (同上)
 - 一、近畿に遊ぶの記 (同上)
 - 一、遊覽地の設備に對する吾輩の希望 (同上)
 - 懸賞品一等天賞堂製金時計一個二等同上銀時計一個三等置時計一個四等以下は十部迄で名所案内一冊づゝ選者都新聞社遅塚麗水先生、中央新聞社、田村江東先生、笹川臨風先生、萬朝報社青木金風先生
 - 一、俳句三府及近郊の名所と名物を面白く詠まるゝ事(本書にある名所名物等を題として一人十首限りの事) 選者伊藤松宇先生同報知新聞社上村先生
 - 右賞品、一等玉寶堂製銀時計一、二等福原資生堂、組合化粧品箱一個、三等荒井眞堂製美術額面一個、四等以下十等迄名所案内一冊づゝ、
- 以上締切來る十月三十一日限りとす

東京市神田區表神保町十番地

三府名所案内社出版部

當選の文章及俳句は悉く再版に當

持101
266

三府及近郊名所名物案内上巻目次

三府及近郊名所名物を見物するは如何なる順序に仍るべきか……………	一	青山御所と東宮御所……………	四
宮城及楠公銅像……………	三	上野公園……………	六
新東宮御所芝離宮と赤坂離宮……………	五	淺草公園……………	八
東照宮及徳川氏靈屋と日比谷公園……………	七	愛宕公園……………	一〇
芝公園……………	九	各所の櫻……………	二
飛鳥山と湯島公園及向島……………	一	參謀本部……………	三
大久保つゝじと牡丹……………	三	神田明神…龜井戸天神…水天宮……………	五
靖國神社と砲兵工廠……………	四	東西本願寺と豊島ヶ岡…音羽護國寺……………	七
日枝神社…豊川稻荷…深川の不動尊……………	六	角筈十二社…目黒不動…五大橋……………	九
高輪泉岳寺と回向院……………	八	乃木大將遺跡、伊藤公、桂公、の墳塋……………	二
東京驛…日本橋と魚市場と青物市場……………	二〇	玉川電氣鐵道沿道の名所……………	二七
京濱電氣鐵道沿道の名勝……………	二三	京都を見物するには御所……………	三〇
成宗電氣鐵道沿道の名勝……………	二六		

日の御門紫宸殿二條離宮平安神宮智恩院……三
 清水寺……豐公廟……三十三間堂……三三
 上賀茂神社……三三
 大徳寺……本能寺……加茂川……樂賑地……島原遊廓……嵐山の勝景……日本一の奇觀……伏見桃山陵……三七
 大阪府の沿革……三六
 木津難波……堀江島の内……船場……靱……京町堀……新町江の子島……三七
 九條松島……築港……福島……中の島……堂島……曾根崎……天満と網島……三九
 市外近郊……四二
 建築界の重鎮竹田源次郎氏……四四
 瓜生藥局……四七
 荒井眞畫堂……四九
 地紙印橋仲買店……五一
 風月堂……五一
 空氣屋本店……五三
 根岸病院……五五
 松岡搾乳場……五九

東西本願寺……圓山公園……八阪神社……高臺寺三
 豐國神社……西大谷……大佛殿……伏見稻荷……三四
 下賀茂神社……金閣寺……銀閣寺……北野神社……三五
 南北上町……天王寺附近……高津生玉附近……三七
 東洋一の帝劇……四一
 廣瀬辯護士……四三
 山下吳服問屋……四四
 三越吳服店……四六
 丸水印渡邊株式店……四八
 新杵……五二
 犬博士の病院……五四
 東京肛門病院……五六
 生民軒牧場……五八

米乳……玄米ミルク……六一
 福田辯護士……六三
 料理店一直……六五
 京都料理平の家……六七
 竹葉亭と三定……六九
 白髯祠畔の入金……七一
 カアエーパリスター……七三
 玉泉亭の鮎料理……七五
 玉川の柳屋料理店……七七
 發火自動速報機……七九
 北上電氣商會……八一
 淺野板……八三
 ニッポノホン……八五
 新橋の龜屋食料品店……八七
 三府と近郊花柳界芝居寄席活動料理店旅宿土産物案内東京近郊……八九
 同上大阪近郊……九一

山尾建築技師……三三
 川越町渡邊銀行……三六
 江戸子料理金六亭……三八
 純粹の洋食店……四〇
 言問團子と大阪ずし……四二
 不忍池畔の東仙閣……四四
 大梅園曙樓……四六
 臺灣喫茶店……四八
 花月サイダー……五〇
 青木堂食料品店……五二
 荒井眞畫堂……五四
 味の素……五六
 西川商店の蒲團……五八
 井上自動車商會……六〇
 同上京都近郊……六二

三府及近郊海水浴場案内	100
三府と近郊重なる避暑地と避寒地	104
新橋の橋善	106
鮫洲川崎屋料理店	108
海岸の松浅料理店	109
鷺塚高等筆筒店	110
日本コナミルク株式会社	112
チヤリ合名会社	116
資生堂の化粧品	120
市川の松桃園	123
女醫佐藤治子	125
兼康小間物店	127
花に嵐の妙齡美人	128
今朝牛鳥店	128
米山サイダー株式会社	130
伊賀屋藤井ふとん店	134
三府と近郊温泉案内	101
三府と名古屋美人の言葉	104
飯田川岸富士見樓	106
八幡の武者料理	108
竹内醫院	109
東京紅療院	111
木の下電球工場	115
天賞堂	118
東京郊外の樂天地	121
大原簿記學校	123
新派俳優佐藤茂三氏	128
福祿堂	132
みやこ合資会社	136
三府無比の湖月樓	139
新町郊外住宅地	141
盤若美術銅器店	145

三府及近郊名所名物案内上卷目次終

歌橋ビツケの聲價	146
京成電車の沿道	148
純日本式自動車タイヤ	150
池の端の玉寶堂	153
たかしまや呉服店	147
鬼笑堂の靴店	149
東京一の強國舎の牛乳	152
市原製作所と唧筒	155

三府及近郊名所名物案内下巻目次

(I)

東洋唯一の三井銀行……………	一
伴傳商店の特色……………	五
最も確實な明治火災……………	八
マニユ生命保險會社……………	一〇
宮田總本店……………	三
鳥料理一力……………	五
婦人の寶……………	七
高等鞆鈴木商店……………	一〇
日本便達株式會社……………	三
近藤藥局……………	四
あかあんどん……………	六
長養軒の牛乳……………	九
料理店伊吹……………	二二

鑛泉王三ツ矢サイダー……………	二
製車界の權威川口製車場……………	六
世界的の富士紡績……………	九
山の手第一のいろは牛鳥店……………	二
淺草唯一のみくに座……………	四
人知れず資金が出来る……………	六
大吳服店白木屋……………	九
鳥料理のぼたん……………	二
山下のだるま……………	三
磯部金物商店……………	五
矢田布團店……………	七
菊地仁成堂藥局と京和銀行……………	一〇
藪塚鑛泉……………	三

(2)

西長岡鏡泉……………	三四	鍋島石材商店……………	三五
坂戸製材工場……………	三五	中川牛鳥店……………	三七
結婚を望む男女の福音……………	三六	大呉服店高鳥屋……………	三九
疊と庭の大問屋……………	四〇	信用無比の小室醫院……………	四二
西川布團店……………	四三	岡野榮泉……………	四四
小澤藥局……………	四四	喘息の神樂と上野の岡塾……………	四五
金屏風と簾青木靜林堂……………	四七	帝國ホテル……………	四九
精養軒……………	五〇	蒲焼の元祖竹葉……………	五一
大阪鮎……………	五二	梅園のしるこ……………	五四
喜谷實母散本店……………	五三	ニューヨーク式の洋食店……………	五四
千代田すし……………	五五	黑板工務所……………	五六
中外印刷株式會社……………	五七	風味ありのみ……………	五八
土木建築の大家石井權三氏……………	六〇	小池銀行……………	六一
割烹店みどり家……………	六一	玉川の玉翠園……………	六三
養老館のラジウム……………	六四	支那料理來々軒と米久……………	六五
君が代サイ……………	六六	常盤華檀と六本木のときわ……………	六七

東上鐵道沿道名勝……………七〇
 東武鐵道沿道名勝……………七一

武藏野鐵道沿道名勝……………七二

(3)

三府及近郊名所名物案内下卷目次終

再版豫告

本編は三府及近郊のあらゆる方面に涉り紹介し、遊覽者の羅針盤
たらんと期せしも調査の精確を欲せし故に豫期以上の日子を要し
一面に發行を急がざるを得ず、爲めに片々たる小冊子素より其の
説く所簡にして盡さざるは云ふに及ばず、行文に、取材に杜撰の
廉些なからずと思わる是等は大方の叱正を俟つて漸次訂正せんと
欲す、仍而更に近く再版増頁を爲し精査中に屬する各種の名物、
信用ある諸會社銀行、工場、商店、乃至、旅館、料理店、飲食店、
觀覽物、花柳界の内幕に至る迄其他一般の現況を列記して嚴密な
る嚮導ならん事を期す、奮つて愛讀の榮を給へ。

發行者謹識

再版懸賞記事文俳句募集豫告

左記の各項に付き愛讀者より投稿を歓迎す

- 一、記事文三府及近郊を漫遊するは如何なる順序が宜敷乎(言文一致記事文三十四字詰二十行限り)
- 一、東京と近郊を漫遊するの記 (同上)
- 一、近畿に遊ぶの記 (同上)
- 一、遊覽地の設備に對する吾輩の希望 (同上)

懸賞品一等天賞堂製金時計一個二等同上銀時計一個三等置時計一個四等以下は十秒迄で名所案内一冊づゝ選者都新聞社遅塚麗水先生、中央新聞社、田村江東先生、笹川臨風先生、萬朝報社青木金風先生、俳句三府及近郊の名所と名物を面白く詠まるゝ事(本書にある名所名物等を題として一人十首限りの事) 選者伊藤松宇先生同報知新聞社上村先生

右賞品、一等玉寶堂製銀時計一、二等福原資生堂、組合化粧品箱一個、三等荒井眞畫堂製美術額面一個、四等以下十等迄各名所案内一冊づゝ、

以上締切來る十月三十一日限りとす

東京市神田區表神保町十番地

三府名所案内社出版部

當選の文章及俳句は悉く再版に滿載す

三府及近郊名所名物案内上巻目次

三府及近郊名所名物を見物するは如何なる順序に仍るべきか……………	一	青山御所と東宮御所……………	四
宮城及楠公銅像……………	三	上野公園……………	六
新東宮御所芝離宮と赤坂離宮……………	五	淺草公園……………	八
東照宮及徳川氏靈屋と日比谷公園……………	七	愛宕公園……………	一〇
芝公園……………	九	各所の櫻……………	三
飛鳥山と湯島公園及向島……………	一一	參謀本部……………	三
大久保つゝじと牡丹……………	一三	神田明神…龜井戸天神…水天宮……………	一五
靖國神社と砲兵工廠……………	一四	東西本願寺と豊島ヶ岡…音羽護國寺……………	一七
日枝神社…豊川稻荷…深川の不動尊……………	一六	角筈十二社…目黒不動…五大橋……………	一九
高輪泉岳寺と回向院……………	一八	乃木大將遺跡、伊藤公、桂公、の墳塋……………	二二
東京驛…日本橋と魚市場と青物市場……………	二〇	玉川電氣鐵道沿道の名所……………	二七
京濱電氣鐵道沿道の名勝……………	二三	京都を見物するには御所……………	三〇
成宗電氣軌道沿道の名勝……………	二六		

日の御門紫宸殿二條離宮平安神宮智恩院	三
清水寺	三
上賀茂神社	三
大德寺	三
大阪府の沿革	三
木津難波	三
堀江島の内	三
船場	三
靱	三
京町堀	三
新町江の子島	三
九條松島	三
築港	三
福島	三
中の島	三
堂島	三
曾根崎	三
天満と網島	三
市外近郊	三
建築界の重鎮竹田源次郎氏	三
瓜生薬局	三
荒井眞畫堂	三
地紙印橋仲買店	三
風月堂	三
空氣屋本店	三
根岸病院	三
松岡搾乳場	三
東西本願寺	三
圓山公園	三
八阪神社	三
高臺寺三	三
豐國神社	三
西大谷	三
大佛殿	三
伏見稻荷	三
下賀茂神社	三
金閣寺	三
銀閣寺	三
北野神社	三
日本一の奇觀	三
伏見桃山陵	三
南北上町	三
天王寺附近	三
高津生玉附近	三
東洋一の帝劇	三
廣瀨辯護士	三
山下吳服問屋	三
三越吳服店	三
丸水印渡邊株式会社	三
新杵	三
犬博士の病院	三
東京肛門病院	三
生民軒牧場	三

米乳	六
玄米ミルク	六
福田辯護士	六
料理店一直	六
京都料理平の家	六
竹葉亭と三定	六
白髯祠畔の入金	六
カアエーパリスター	六
玉泉亭の鮎料理	六
玉川の柳屋料理店	六
發火自動速報機	六
北上電氣商會	六
淺野板	六
二ツボノホン	六
新橋の龜屋食料品店	六
三府と近郊花柳界芝居寄席活動料理店旅宿土産物案内東京近郊	六
同上大阪近郊	六
山尾建築技師	六
川越町渡邊銀行	六
江戸子料理金六亭	六
純粹の洋食店	六
言問團子と大阪すし	六
不忍池畔の東仙閣	六
大梅園曙樓	六
臺灣喫茶店	六
花月サイダー	六
青木堂食料品店	六
荒井眞畫堂	六
味の素	六
西川商店の蒲團	六
井上自動車商會	六
同上京都近郊	六

三府及近郊海水浴場案内……………	一〇〇
三府と近郊重なる避暑地と避寒地……………	一〇四
新橋の橋善……………	一〇六
鮫洲川崎屋料理店……………	一〇八
海岸の松淺料理店……………	一〇九
鷺塚高等算笥店……………	一一〇
日本コナミルケ株式会社……………	一一二
チヤリ合名會社……………	一一六
資生堂の化粧品……………	一二〇
市川の松桃園……………	一二三
女醫佐藤治子……………	一二五
兼康小間物店……………	一二一
花に嵐の妙齡美人……………	一二五
今朝牛鳥店……………	一二八
米山サイダー株式会社……………	一四〇
伊賀屋藤井ふとん店……………	一四四
三府と近郊温泉案内……………	一〇三
三府と名古屋美人の言葉……………	一〇四
飯田川岸富士見樓……………	一〇六
八幡の武者料理……………	一〇八
竹内醫院……………	一〇九
東京紅療院……………	一一一
木の下電球工場……………	一一五
天賞堂……………	一一八
東京郊外の樂天地……………	一二一
大原簿記學校……………	一二三
新派俳優佐藤茂三氏……………	一二八
福祿堂……………	一三三
みやこ合資會社……………	一三六
三府無比の湖月樓……………	一三九
新町郊外住宅地……………	一四一
盤若美術銅器店……………	一四五

歌橋ヒツケの聲價……………	一四六
京成電車の沿道……………	一四八
純日本式自動車タイヤ……………	一五〇
池の端の玉寶堂……………	一五三

たかしまや呉服店……………	一四七
鬼笑堂の靴店……………	一四九
東京一の強國舎の牛乳……………	一五二
市原製作所と唧筒……………	一五五

三府及近郊名所名物案内上卷目次終

三府及近郊名所名物案内下巻目次

(I)

東洋唯一の三井銀行	一
伴傳商店の特色	五
最も確實な明治火災	八
マニユ生命保險會社	一〇
宮田總本店	二〇
鳥料理一力	二五
婦人の寶	二七
高等鞆鈴木商店	三〇
日本便達株式會社	三三
近藤藥局	三四
あかあんどん	三六
長養軒の牛乳	三九
料理店伊吹	四二

鑛泉王三ツ矢サイダー	二
製車界の權威川口製車場	六
世界的の富士紡績	九
山の手第一のいろは牛鳥店	一一
淺草唯一のみくに座	一四
人知れず資金が出来る	一六
大呉服店白木屋	一九
鳥料理のぼたん	二一
山下のだるま	二三
磯部金物商店	二五
矢田布團店	二七
菊地仁成堂藥局と京和銀行	三〇
藪塚鑛泉	三三

(2)

西長岡鑛泉……………三〇
 坂戸製材工場……………三六
 結婚を望む男女の福音……………三八
 疊と薙の大問屋……………四〇
 西川布團店……………四三
 小澤藥局……………四四
 金屏風と簾青木靜林堂……………四七
 精養軒……………五〇
 大阪鮎……………五二
 喜谷實母散本店……………五三
 千代田すし……………五五
 中外印刷株式會社……………五七
 土木建築の大家石井權三氏……………六〇
 割烹店みどり家……………六三
 養老館のラジウム……………六四
 君が代サイー……………六六

鍋島石材商店……………三五
 中川牛島店……………三七
 大吳服店高島屋……………三九
 信用無比の小室醫院……………四二
 岡野榮泉……………四四
 喘息の神樂と上野の岡塾……………四五
 帝國ホテル……………四九
 蒲燒の元祖竹葉……………五一
 梅園のしるこ……………五四
 ニューヨーク式の洋食店……………五四
 黑板工務所……………五六
 風味ありのみ……………五八
 小池銀行……………六一
 玉川の玉翠園……………六三
 支那料理來々軒と米久……………六五
 常盤華檀と六本木のときわ……………六七

東上鐵道沿道名勝……………七〇
 東武鐵道沿道名勝……………七二

武藏野鐵道沿道名勝……………七三

(3)

三府及近郊名所名物案内下卷目次 終

持110
191

三府及近郊名所名物案内

三府及近郊名所と名物を見物するには

如何なる順序によるべきか？

東京京都大阪の三府及び近郊を見物せんとする人々は如何なる順序によつ

たがよいか、事は簡單なるが如くにして、實は頗る研究すべきものがある、

東京は廣い、京都大阪亦然り漫然として此の大都會に出るも、名所舊蹟の見

物に關する順序を知らなかつたなら、一日て濟む所を十日でも見盡す事を得

(1)

ない悔を遺さぬとも限らぬ、東京に住んでも東京の名所を知らぬ人は多々ある、況んや他郷より來つて東京、京都、大阪及び近郊の全部を見物せんとするに順序を無視するは非常な間違である。

本書は此等の人々に向つて三府及び近郊の現在、交通機關の説明から名所舊蹟の案内、有名なる名物、商店の末に至るまで悉く之を網羅し、一讀掌裡を見るが如く見物の順序方法を知らしめんとして編纂したものである、勿論三府の全部に亘つて詳細の説明を試みる事は小冊子のよくする處でないから必要と認むる部分を簡單に説述したのであるが、若し本書を手にして三府及び近郊の事情を研究するならば如何に複雑な三府及び近郊と雖も、其の粹華を見落すと云ふ事は萬々なかる可し。

編者識

宮城及楠公銅像 長祿年間太田道灌が蒼空高く鶴の翔つた跡を吉兆として江戸氏の城址に畫築し、天正十八年八月徳川氏の入城後更に規模を擴めて幕府三百年の礎を固め、今は萬乘至尊の高御座を置かせらるゝ所である。御濠水淨く、瑞松千代の緑りを籠めて碧瓦其間に隠見する所、座ろ崇敬の念に堪へない。明治元年、徳川幕府之れを朝廷に致し、明治二年三月から皇居と奠めさせられた。後ち五年、明治六年炎上の災があつて、明治天皇皇太后兩陛下には赤坂離宮へ御移御遊ばされ、同時に赤坂離宮を假皇居と定めさせられたが、同二十一年新築御造營が落成するに及んで、翌二十二年爰所に還御在らせられ、皇居を改めて宮城と稱へさせらるゝことになつた、明治天皇神去り給へて後、今上、皇后兩陛下青山御所より遷御在らせられ、今は萬機の

(4)

御親裁を九重雲深き中に遊ばされてゐらせられる。宮柱太しく國の榮えの源
仰げば彌々益々高し。

楠公銅像は二重橋前大廣場にある。住友吉右衛門が別子銅山の産銅を以て
鑄造獻納したもので、明治天皇陛下には特に同所へ設置の御撰定を遊ばされ
たと傳へられてゐる。爽颯の英姿、姿如生けるが如く、之れに對すれば、高
風覺えず襟を正さしめる。

青山御所 明治七年一月皇宮を置かれ、林泉美巧を極め、殊に明治十三年
以來御苑内に菊花を培養して、毎年觀菊會の御催がある。

東宮御所 芝區高輪西臺町に在る。元熊本藩主細川氏の邸であつた。明治
二十四年新に御殿と稱せられ、常宮周宮兩殿下の御住居と遊ばされたが、

今は東宮殿下假御所と定めさせられてある。

新東宮御所 明治三十一年春十箇年の御豫定を以て赤坂離宮内に起工せら
れ、今は全く竣工して洋風石造三層の御建築、佛國路易十四世式を用ひ、各
國の宮殿を參酌して壯觀美麗實に眼を驚かすばかりである。

芝離宮及び赤坂離宮 芝離宮は境城三萬一千九百餘坪、宏大壯麗なる御殿
である。御苑の中央には二千七百餘坪の泉水を設け、水門を置いて魚鼈を其中
に養ひ、海潮が自在に出入する。池中小島を築き橋を架し、眺望が頗る好い。
白櫻翠柳青松次第に栽えられて其間から布帆の去來を指點する所は、正に一
幅の名畫。明治九年二月始めて置かれ、芝區芝濱崎町に在る。赤坂離宮は元
紀州藩邸、明治五年三月離宮と定められ、六年五月假皇居と遊ばされた。今

(5)

の 聖上陛下が仍ほ東宮にゐませし時、二十二年二月より假に其御所に充てさせ、御住居の區域を花御殿と申上げた。

上野公園 面積二十五萬二千餘坪、東京一の大公園である。下谷區の西北部に位し、昔は忍ヶ岡と稱へて、地勢高燥老樹蒼鬱、中に櫻樹を雜へて花時の眺めは繪も亦如かない。陵下には不忍池の水郷を控へて山水の勝景に富むだのは他に覓めても得られない本公園の特色である。園内帝室博物館、動物園、東照宮、徳川靈屋、清水觀世音、辨財天祠、大佛、鐘樓、忍ヶ岡稻荷祠、帝國圖書館、東京美術學校、西郷隆盛銅像、彰義隊碑等あり、四時を通じて遊客の裙履を絶たない中にも、艷春三月花の消息は、園内清水堂前の彼岸櫻を以て例年劈頭第一とし、滿都の綺羅を傾ける賑ひは迎も想像の外である。

東照宮及徳川氏靈屋 寛永四年四月の創立、上野公園に在る。明治六年府

社に列せられた。祭日は六月一日で、唐銅燈籠五十基、石燈籠二百八十基、孰れも諸侯の寄進したのが今も遺つてゐる。

徳川氏靈屋は上野公園の裏手、櫻木町に在る。東を一の靈屋と稱し家光、家綱、家治、家齊を葬り西を二の靈屋と稱して吉宗、家定、家基の墓がある。

輪奐粉壁の美、芝の靈屋と規を同うしてゐる。

(7) 日比谷公園 麴町區西日比谷町に在る。東京市内第一位の公園である。園内には心字池雲形池と大噴水を應用した泉水を二箇所に穿ち水禽魚鼈が數多放養されてある。綠葉樹、花卉類は次第を立て、園内の各所に栽えられ、紅紫取りくりに四季の眺めぞ麗はしい。大運動場がある、音樂堂、四阿、日比

谷圖書館等もある。わけても當園の躑躅は有名な大久保の夫れを移植したもので、花の盛りの美觀は筆紙の及ぶ所でない。

淺草公園

東京一の熱鬧場である。

舊と淺草寺の境内であつたのを明治六

年公園としたのである。園内を七區に分つて觀音堂は其第一區にある。本尊

は一寸八分の黄金佛で人皇三十五代推古天皇の御宇宮戸川から上つた靈像で

ある。今の伽藍は慶安三年徳川氏の造營する所、階段左右の聯額は東江源鱗

の揮毫である。園内三社、五重塔、仲見世、十二階、水族館、活動寫眞各館、

玉乗り其他各種の興行物、飲食店等雜然紛然として軒を並らべ、其の繁華は

殆んど晝夜の間斷がない。六區は興行物の中心、七區は旅館、寄席、飲食店

等の集合地、比較的是れ等の中で景趣に富むだのは四區である。瓢箪池、播

鉢山、中の島等がある。忙中閑を掬するに足る。五區には花屋敷の外、圍碁

會所、新聞縦覽所、銘酒店等密集して盛んに標客を吸引して居る。現在一坪

壹年間の借地權が五百圓以上に賣買されて居るのを見ても如何に此公園の般

賑なるかを想察されやう。

芝公園 舊と三縁山増上寺の境内である。明治六年初めて公園となつた。

總坪拾六萬餘坪、園内樹木鬱蒼として晝尙昏い幽邃の趣きは他に比肩す可き

所の尠い勝區である。増上寺は淨土宗關東十八檀林の首斑、徳川氏の菩提所

で、明治六年本堂焼失新築後再び回祿の災に罹つて今や其再建中である。寺

寶には國寶一切經一萬七千餘卷、狩野一信筆五百羅漢像百幅等を藏し、有名

な黒本尊がある。同寺に隣つて一號地には徳川二代の將軍臺徳院秀忠三號地

には同六代文照院家宣同七代有章院家繼の靈屋がある。

其他園内、東照宮、辨財天祠、伊能忠敬紀念碑、楠本正隆紀念碑、橋媛銅像、板垣退助壽像、酒井雅樂頭寄進五重塔等各所に散在し、丘陵丸山に躋れば東京灣は一瞬の中に集り遠く總房の連山を霞めて白帆點々たる處、禿筆之を盡し難い。

愛宕公園 芝區愛宕町に在る、面積四千七百坪、明治十九年公園に編入された。石階を二ヶ所に架し、正面の急峻なるを男坂といひ、鐵鎖を中央に懸けて攀躋の便にしてある。女坂は之れに隣りて勾配稍緩漫である。愛宕神社は伊弉册尊を祀り、東京の半面を下瞰し房總の諸山を指顧する山上の展望は古來絶佳の稱がある。

飛鳥山公園

東京府北豊島郡王子町に在る。石神川山麓を遶りて櫻樹多く、

古來花の名所である。園内飛鳥山碑櫻賦の碑等建ち、附近に王子神社、飛鳥神社等がある。

湯島公園其他數公園

湯島神社の境内、面積千七百八十餘坪、園内梅があ

る楓がある。東方懸崖から上野の杜を望むて風光頗る絶佳だ。神社は菅公を祀りてある。文明年間太田道灌の再興する所である。麴町公園、麴町區永田町にある。日枝神社の境内で四時遊覽の適地である。白山公園は小石川區白山前町にある。杉林蒼鬱たる小丘で、古來初音の里と稱し杜鵑の名所である。園内白山神社を奉祠す。

向島墨堤

本所區の北部から郡部に亘つた隅田川の堤防地で、古來東京第

一の櫻花の名所である。三園神社、長命寺、牛の御前、白鬚神社、木母寺、隅田川神社、百花園と名所舊跡相隣つて、艶春駘蕩の折には都人の遊覽麻よ
りも繁い。

隅田川の清流溶々として油の如く、浮くや鷗の一、二、三、四、往き來う
白帆に雖りて眠る。千朶萬朶の紅櫻雲を綴つて之れに映じ、風一陣、寒から
ぬ雪の程好く降る絶景は實に筆舌の外である。有名な梅若塚は木母寺の境内
にある。名物言門團子、佳味たるを失はない。其角の『夕立や田を三園りの
神ならば』名句の碑三園神社境内にあり。

櫻 東京市内にては上野公園、芝公園、九段公園、麴町公園、江戸川端、
近郊にては小金井、荒川堤等最も著名である。

躑躅 大久保躑躅園、日比谷公園を市内の双壁とし、郊外に在りては日暮
里花見寺最も有名なものである。

藤 郊外龜戸天神境内最も著はれ、芝公園、大久保、湯島天神境内、日比
谷公園等之れに次ぐ。

牡丹 本所區四ツ目及 郊外目黒等、古來牡丹の名所である。

菖蒲 古來郊外堀切村を以て名所としてある。蒲田町の蒲菖之れに次いで
近來頗る發展し、本所區四ツ目亦盛名がある。

參謀本部 麴町區永田町一丁目にある。元加藤清正の邸趾で、有名なる千
疊敷の在つた所である、後彦根藩主井伊氏の邸となり尋て本部となつたので
白聖の高閣雲を凌ぎ、門内に故參謀總長有栖川宮殿下騎馬の銅像を建設して

ある。

靖國神社 麴町區富士見町三丁目、嘉永以降國難に殉じた人士の英靈を合祀した靖國神社である。毎年五月と十一月の五日六日七日の三日間を大祭とし、勅使が参向される。境内中央に大村兵部大輔の銅像がある。川上参謀總長の銅像がある。境内の遊就館には古今内外の武器を蒐集して一般の縦覽に供してゐる。

東京砲兵工廠並に後樂園 小石川區に在る。陸軍の兵器を製造修理し、海軍所要の火薬を製造してゐる。廠内には有名な舊水戸侯の庭園後樂園がある。明の遺臣朱舜水の意匠に係り、東都第一の名園である。園中大池を穿ち、緑樹鬱蒼晝尙昏く、池中蓬萊島を築いて辨財天を祀つてある。

神田明神 麴町日枝神社と並んで、古來江戸の二大祭と稱せられた盛り神、天平二年の創建で、元和二年今の神田宮本町へ移したのである。九月十五日を大祭とし、日枝神社と隔歲に執行してゐる。大己貴命少名彦命を合祀し、攝社に江戸神社將門神社以下六社、末社に魚河岸神社以下九社がある。

龜戸天神 東京府南葛飾郡龜戸町に在る。菅公を祭神とし、境内心字池樓門等を設け太宰府の光景を模す、同所の藤は花房一丈餘に及び、古來から佳名を喧傳されてゐる。

水天宮 日本橋區蠣殻町三丁目に在る。筑後久留米水天宮の分靈で、安徳天皇を奉祀したものである。例祭は例月五日を以てし、詣者雲集、非常な賑ひである。

日枝神社

麴町公園内に在る。

天長七年近江の日吉山王を遷したものの、天正年間から徳川氏の産神となつた。其祭禮は神田明神と共に隔歳行はれる筈で、昔時より江戸二大祭の一と稱されてゐる。

豊川陀枳尼天

三河國豊川陀枳尼天の出張所である。

元は豊川稻荷と稱したのを維新後佛式に歸して今の名稱に改めた。赤坂區新町電車停留場の直ぐ前で、花柳界其他の參詣者が絶えぬ。

琴平神社

俚俗に虎の門金毘羅といふ。

讚岐象頭山琴平神社の移して、芝

區琴平町に在る。元丸龜藩主京極家の邸内であつたのを明治六年府社とした。深川の八幡と不動尊。深川公園内に在る。八幡神社は譽田別天皇を奉祀し不動尊堂は成田不動尊を勧請す。附近茶亭、花屋敷、汁粉店、大弓店等ある。

參詣者は常に絶えぬ。

東本願寺

淺草區松清町に在る。

京都東本願寺の別院で天正十九年神田に創建し、明暦の大火後爰所に移つた。寺中圓照院には彼の有名なる新井白石の墓がある。

西本願寺

京橋區築地三丁目に在る。

京都西本願寺の別院で一府十三縣に亘り、五百餘の末寺を有つてゐる。元和七年三月の創始である。

豊島ヶ岡

元と權現山と稱した地で、小石川區大塚坂下町に在る。

明治六年九月御陵山と定められ、各親王内親王の御墓がある。

音羽護國寺

豊島ヶ岡と相隣りて在る。

神齡山悉他院といふ。新義真言宗で、三代將軍家光の守本尊佛琥珀二臂如意輪觀世音を安置す。境内三條公、

中山侯等の墓がある。

高輪泉岳寺 右は高輪泉岳寺と、子女の口すさむ鐵道唱歌に迄唄はれたる

名所、芝區車町にあつて、赤穂四十七士埋骨の舊蹟で境内の西南樹木蔭昏き

丘陵の上に大石内藏助以下四十七士の墓が列むてゐる。之れに續いては薩藩

の奇人喜劍の墓石があつて、別に石垣を遶らして淺野内匠頭の墳墓がある。

瑤池梅首洗井、天野屋利兵衛の碑は相隣つて其係を偲ばせる。また寶藏に

は義士の遺物を陳列し、木像堂には四十七士の木像が配列されてある。元祿

快擧の思出は優に一日の閑を消するに足りる。

回向院附國技館 本所區元町に在る。明曆大火の燒溺死者十萬七千餘人の

屍を爰所に埋葬し、増上寺の道譽上人が供養をして一寺を創建したのが即ち

回向院である。境内加藤千蔭、俠賊鼠小僧の墓等がある。國技館は大正四年

に燒失し今は九段靖國神社境内で假りに相撲場と成つて居る。毎年一月五月

の二期同處に於て大相撲の興行をする。全國の好角家が群集して非常な景氣

である。

角筈熊野十二社 府下淀橋町字角筈に在る。熊野十二社權現を祀る。應永

年間中野の長者鈴木九郎の創設で、境内瀧あり、最も夏時の清遊に適す。

目黒不動尊 府下荏原郡目黒村に在る。慈覺大師手作の不動像を祀る。境

内不動の瀧がある。堂前の旗亭に有名なる比翼塚を存す。城南の清境である。

五大橋 永代橋、新大橋、兩國橋、厩橋、吾妻橋と之れを東京の五大橋と

云ふ。孰れも隅田川に架して、日本橋區、淺草區から深川、本所の兩區へ渡

る鐵橋である。就中兩國橋は昔江東を開く時最初に架た橋で、年々川開きを此の橋中に催し、數百本の煙火を打ち揚げる。東京の勝事として昔から名高

東京驛 和田倉門外に巍然として聳きた大建築延長實に百八十三間、左右の塔は高さ百五十二尺と註し、鐵骨、煉瓦の壯大なもので、東洋第一の大停車場である。内外の裝飾、設備の善盡し、美盡したのは言ふだけ野暮。汽車に用なくとも一見して置く可き東京名所の一である。

日本橋と魚市場 日本全國諸道の里程を算する元標となつてゐるのは即ち日本橋である。日本橋通一丁目の北端に於て、日本橋川に架つてゐる橋柱の題字は前將軍徳川慶喜卿の揮毫に係り、瑩然たる橋欄の美は織るが如き車

馬行人を照らし、橋下去來の潮流日に千艘の舸船を吐吞す。正に東京第一の般盛地である。

魚市場は同橋の北岸に在る。慶長年間の創設、每朝房總豆相其他の地方より漕運し來る魚類の市を開らく、對岸四日市亦魚市ありて、孰れも盛んなもののである。

青物市場 京橋大根河岸、兩國矢の倉、本所一ツ目、神田須田町の各所にある。中にも神田市場は貞亨三年四月から始設したのを明治十年更らに合併して問屋の數を増し、東京一の青物市場だ。

乃木大將遺蹟及伊藤公、桂公の墳塋 乃木大將の遺蹟は赤坂區新坂町に在る。邸宅古朴素、一度び茲處に入るものは純忠至誠なる將軍の高風と夫人

の貞節ていせつに感激されぬものはあるまい。伊藤公いとうこうは長州の人、勅命ちよくめいを奉じて我國曠古の光輝たる憲法制定の任に當り、上下の重望ぢゆうぼうを負ふて幾度か内閣を組織し、名聲海の内外に轟いた明治の元勳、不幸哈爾賓停車場に凶豎きようじゆの狙撃する所となつて異域の露と消えた。舉國痛悼、先帝せんてい特に國葬の禮を賜ひ、府下ふか荏原郡大井村の高地に埋葬した。桂公かつらこうの塋域は府下世田谷村に在る。公は四度び總理大臣となりて内閣を組織し、日露の役、朝鮮併合、日英同盟等特筆す可き明治の偉業ゐげふには盡く其局に當つて、赫々たる勳功は世の知る所である。井上侯の墓所は麻布長谷寺内にある、侯は日本財界の監督者として權威並ぶものなく、維新の功臣たりしは人の知る處、伊藤公と共に忘るべからざる人である。

京濱電氣鐵道沿道の名勝

京濱間十八哩品川八ツ山を起點とし神奈川驛に

至る京濱電氣鐵道株式會社の經營である品川は始めの驛で東南に總房の連山を望み京濱電氣の發車場である。北馬場驛徳川家光公が帷幕として名聲高き澤庵和尚の開創したる東海禪寺には同和尚の墓がある品川天王寺も近く青物横町千體荒神堂は海雲寺にあり大井町權現臺は太古の貝塚の遺蹟として種々の土石器を發掘し考古學者の寶庫と稱せらる恩賜館の大なる一廓の邸宅は是れ故伊藤公の館である是れより北に谷垂なる伊藤公爵の墳墓あり賽者頗る多い鮫洲停留所補陀山海晏寺は停留場の西で紅葉の名所濱川土佐山立會川の停留場を経て次は鈴ヶ森停留場昔の様も偲ばる、濱川神社は素盞雄尊を祀つてある海岸停留場に近き處に八幡神社あり八幡海岸は夏時海水浴の繁昌筆紙に盡

し切れぬ海岸停留場大森停留場の分岐驛で品川より直通電車もある、大森驛より本門寺迄は十五丁境内七萬餘坪日蓮上人開山の靈場で毎年十月十二三の兩日祖師上人の大縁忌の日には國中よりの信徒雲の如く集り數百萬を算す關東無双の靈地である山谷停留場を降りて森ヶ崎の鑛泉料理富士川あり梅屋敷停留所有名なる蒲田梅屋敷あり門前に電車を下りると梅の老樹數百株あり名物梅醬が名高い蒲田菖蒲園は關東第一と稱せらる横濱植木株式會社の花園にて數百種の菖蒲を培養しあり蒲田停留所(穴守稻荷)穴守電車に乗換へて行けば數分間で穴守神社の大鳥居前に達す名も優雅の鈴木新田は神社の所在地である數ある鳥居の隧道の様に立ち並んでゐる兩側は掛茶屋である華表を潜れば社殿で近頃新築した莊嚴なる社にて數百萬の信徒の渴仰引きも切らず社後

奇石を以て築きたる假山上に登りて西を望めば雲烟の裡に富士を望む附近には鳥居の社前に建て切れぬのが積んで山を成し其數幾千萬なるを知らず如何に信徒の多きかと思はる、祭神は倉視命豊受比賣命大宜都比賣命保食神四名一體の神である料理店旅館で宮前料理店小川家鮮魚料理家滿本料理旅館とりや元祖あつやき鹽せんべい乾海苔等がある社前に横山料理店旅館梅家旅館角字奉納點燈申込所穴守點燈舎あてがる料理松屋割烹旅館要家御料理元鈴木穴守名物貝細工倉橋屋元祖寶せんべい社前より二軒目高塚等ありて何れも繁昌を極めて居る六郷土手停留所矢口の渡し新田神社古川藥師石村梅林がある川崎停留所六郷橋を渡れば川崎町で京濱の中間京濱電氣鐵道會社の本社は停留場前金剛山平間寺川崎分岐點より乗り換へて數分間で行ける線路兩側には幾千

株の櫻樹は枝を交へ春は丸て花の隧道を行くが如く田園には桃と梨が限りなく春色殆んど萬目の盡くる所が知れない大師堂は金剛山金乘院と號し本尊を厄除大師とす往昔より此の浦を大師河原と呼ぶ賽者四季群を成し關東無双の靈場公園は境内にある市場停留所市場觀音あり鶴見花月園停留所花月園は同所の前に在り京濱間第一の大遊園地で四季花不絶園内大瀧あり和洋料理は新橋花月の經營て花月園料理は頗る好評生麥停留所附近に生麥の碑がある子安停留所東子安に歸國山浦島寺がある新子安停留所近頃出來た停留所て都新聞社主催の海水浴頗る賑ふ仲木戸停留所太田道灌の古蹟である神奈川驛京濱電氣會社横濱市電と連絡して共通切符を發賣す驛の附近の高島山は青木町背後一帶の丘陵て豊顯寺の櫻花も著名である。

玉川電氣鐵道沿道名勝 一日の郊外運動に尤も好適なるは玉川電鐵沿道である市内電車を澁谷終點て下り山の手線の踏切りを越せば直ちに本線の發車場である終點迄約六哩三十分間て河畔に達する沿道名勝舊蹟に富み玉川は鮎漁地として關東第一と稱せられ殊に河畔の風光は支那揚子江沿岸に似て居るとして近郊中にて冠たる名聲を持つて居る沿道の名所は松蔭神社三軒茶屋停留場下車吉田松蔭を祀る社の後に吉田松蔭賴三樹三郎小林民部少輔來原良藏福原乙之進綿貫治良助等諸豪の墓がある宇佐神社は源義家奥羽征伐の歸途此地に宿りて創建せしとの舊趾である若宮八幡宮一名駒留八幡とも稱す神體は北條時頼の崇尊せし者である乃木神社は乃木將軍を祀る豪徳寺は伊井家の菩提寺にして掃部頭の墓もある東京ゴルフ俱樂部駒澤停留場下車東京府立曹洞宗大

學同上下車園藝學校九品佛有名なる靈佛にて等々力瀧新町郊外住宅地東京信
 托株式會社の經營に係る行善寺遊園地停留場下車遊園地園遊會等には極めて
 絶好の地園内高地に猫塚あり花柳界等の賽者が頗る多い菖蒲園玉川電車終點
 より半町にして園は無料縦覽に供す花種數ふべからず堀切以上との評あり兵
 庫島小島で松杉繁茂し芝生の庭地あり學生等の運動場に適して居る西に富士
 を仰ぎ北に甲武の連山を眺め其風光の佳なる殆んど別天地に遊ぶの感がある
 櫻楓園老幹奇木數百株花時に至れば文人墨客の杖を曳く者頗る多い玉川鮎漁
 終點漁船宿には玉泉亭龜屋柳屋等の各料理店を始めとして十數軒は皆勉強し
 て客を迎へて居る。

成宗電氣軌道株式會社沿道の名勝

成宗電車はいつも客が一杯である斯く

(29)

繁昌するの尤て驛前から成田山迄往復が七錢と云ふ安價である同驛より宗
 吾靈堂迄三哩余あるが之又往復僅かに金二十一錢で附添のある満六歳迄の小
 兒は二人までロハて乗せるまた此の上に學生や團體に對しては破格の割引を
 成して居る望みに依りては客車の貸切りもある沿道の風景絶佳なるは全く別
 天地を遊覽電車で旅行する心地がする成田停車場前と宗吾靈前には固形回線
 を成して電車の往復を使ならしめつゝある宗吾靈堂は終點際に在りて『徳滿
 院涼風高顯居士』の親子の墓碑は境内に在り靈廟程遠からぬ處に木内宗吾氏
 の實家がある義民の模範たる人の出生した宅程ありてさすがに昔がしのばれ
 て床しく數百年を経たる大家今尙連綿として農家である宅地は裏山高くして
 前に細流及田園あり宗吾靈廟に詣づる人は一度は訪問すべしと記者は推薦す

京都を見るには？

京都は日本の公園である、否、日本の公園であるのみならず、世界の公園である。京都を圍繞する鑿ての山も、川も皆悉く歴史を有する名所、古蹟である、京都の草、京都の石、京都の水、その凡てには皆千年の歴史を藏してゐる、日本の景勝を探れんとする者の第一に杖を曳くべき所は京都である。其の位置は山城國の中央、廣袤東西一里、南北二里、鴨河を狭んで市街は依然碁盤の目の如く、桓武天皇が奈良より帝都を此處に移し給ふてより一千百餘年、風光依然として明眉玲瓏、今回御即位の大典を行はせられる御所を始めとして見るべき名勝數ふるに追がない、いでや左に章を追ふて其の大略を説述しやう。

御所 桓武天皇の御宇より明治維新の東京遷都まで御歴代の皇居たりしも、昔時の盛觀は風霜の變化と共に觀る可らざるに至つたと云へ、猶萬乘の君の居り給ふ所、結構の善美なるは申す迄もない、位置は市の北方に方り、七條停車場前の通りを眞ッ直に行つた突當りになつて居る。内には紫宸殿、清涼殿、宣陽殿、常御殿、御學問所、小御所、迎春殿等があり、老松の翠、櫻桃梅柳

の縁と相映じ清淨崇嚴の氣自から人に迫る。

日の御門 日の御門は御所の東門で、南に建禮門西に宣秋門、北には朔平門があつて何れも御所の外門になつてゐる。

紫宸殿 紫宸殿は全體は亞字形をなし、總檜木造、南面を正面とし十八級の階があり、階前に有名なる左近の櫻、右近の橋がある、

二條離宮 二條離宮は京の西北方二條停車場の東北に在りて織田信長の築ける二條城址である、城廓は年と共に變じて今は昔時の壯觀を止めないが、城内の泉苑は依然として舊觀を存し、風趣絶佳、今は離宮として更に修飾を加へられ、幽邃、閑雅眞に俗界のものでない。

平安神宮 桓武天皇を奉祀せる處で市の東北、岡崎公園に隣接してゐる、官幣大社で建築古への大極殿に模し、平安奠都千百年の紀念として造營せられたものである。丹碧光彩陸離として人目を新にするものがある。西隣に有名なる武徳殿があり、其の前面の廣場が櫻の馬場である。

智恩院 は華頂山大谷寺と稱し東山第一の大刹、淨土宗の大本山として知らぬ者もない、寺内の大梵鐘は日本一と稱し本堂の廊下の簷張りなど人口に膾炙してゐる。

東西本願寺 次に有名なのが東西兩本願寺の大伽藍で、東本願寺は七條停車場の前面烏丸通りに臨み、西本願寺は其の西方にある。何れも規模宏大建築壯麗目を驚すばかりで全國數百萬の信徒渴仰の中心である。東本願寺は教如上人の開基、大谷派の本山である、西本願寺は本派本願寺の本山である、京都見物の第一として四時遊覽の人に満たされて居る。

圓山公園 見物の道順よりすれば智恩院より圓山公園に至るを順とする、圓山公園は京都唯一の公園で智恩院の南にある、風景絶佳、四時の眺望飽くるを知らない。園内の枝垂櫻は亦名物の一である。

八阪神社 即ち素盞鳥命及稻田姫を祀り奉れる官幣大社で圓山公園に隣つてゐる、毎月七月の祭禮は有名な祇園祭と稱し全市の賑は筆舌に盡し難い、祭式は今に古風を存じ月鉾等の行列があり、京都人の誇りの一たるものである。

高台寺 寺は豊太閤及夫人の木像を安置した處で慶長年間の建立に係り、風光明媚、彼の京の四季に歌はれた名所である。八阪神社の南に位し大谷派本願寺の廟所たる東大谷の南にある。

八阪塔 八阪塔は京都名物の尤なるもの、春雨煙々音羽山を背景として翠巒に相映せる塔の

美觀は正に一幅畫中のものである。寺を法觀寺と號し、聖德太子の建立に係り我國最初の寶塔である。

清水寺 八阪塔より東南五町の處にある、清水の舞臺から飛んだ、と里諺によつて有名な舞臺

は其の南面にあつて結構壯大、眺望の美觀到底筆紙に盡し難い、本堂には十一面觀世音を安置し寺後の音羽瀧に參籠する信徒常に絶えず、舞臺の下に當る楓林を新高尾と稱し、秋の風光愛すべきものがある、寺の創建は田村磨將軍、西國第十六番の札所なるは皆人の知る處である。

豊公廟 即ち秀吉公の遺骸を葬りし處で、山を阿彌陀ヶ峯と云ひ、清水寺の東方に位し、正面の石階數百級、峯上に立つて四望すれば市の大半を眺め得べく、光景雄大を極めてゐる。

帝室博物館 阿彌陀ヶ峯を下つた正面にある。建築壯大雄麗、京都美術の淵藪をなして陳列の彫刻、繪畫、美術品等は遊覽の邦人を始め諸外國人をして垂涎三尺ならしめるものが多い。

三十三間堂 博物館に西隣して有名なる三十三間堂がある。三才の童子も名を知る名所で南北實に六十六間、三十三間堂と稱するのは三十三の柱を列れたのに出來する、柱間二間づゝ合せて六十六間となる。内部には一千體の觀音像を安置し後白河法皇の建立し給ふ處、蓮華王院といふの

が其の本名である。

豊國神社 太閤秀吉を祀つた神社で博物館の西隣にあり規模さして廣大と稱することは出来ないが其の唐門なるものは桃山の遺物で珍木名材を以て造られ一見の價値充分である。

西大谷 清水寺の西方五條通の突き當りに在る即ち本派本願寺の廟所で樓閣壯大、境内廣潤、見真大師の本廟である、門前の池は皎月池で蓮花の名所として夏季の美景言ふべくもない。

大佛殿 豊國神社から北に轉ずる事少許にして方廣寺がある。昔時大佛像を安置してあつた處であるが現在には其の首のみが残存し、寺外の廓石は大阪築城の餘石で巨大目を驚かすものがある。十萬六千斤の大梵鐘は即ち豊臣秀頼が國家安康の文字を刻んで關東との不和を醸した山緒あるもので、歴史上の興味淺からぬものである。

伏見稻荷 稻荷停車場の北方にある樓門殿堂の壯麗雄大にして、境内の嵩高美觀全國に比へ見ない、祭神は素盞鳥命、大市姫命等で市民の崇敬最も厚い。

上賀茂神社 別雷神を祀る處で、上加茂村に在つて社殿樓門悉く古風を存じ、境内の幽雅なる俗腸を淨ふするものがある、天を衝く考杉の間に丹碧相映する殿閣の隠見する狀調和の妙を極め

眞に京都風光の代表的たるを感ぜしむる。

下加茂神社 上加茂神社の南方下鴨村に在つて市に近く、結構風景、上加茂神社に劣らない、建角神命と玉依姫命を奉祀し。幽雅閑遠を極めた靈境である。

金閣寺 市の北西衣笠の麓に在つて京都名所の尤なるもの、足利義滿豪華を極めた時別荘として建立したもので、後に寺とし鹿苑寺と號したのである。重廊三層巍然として半空に聳え結構の華麗なる人をして驚駭せしむるものがある、庭苑幽邃、泉石樹林の布置絶妙の技を弄し、寔に人外の勝景、俗界を超越した趣がある、宗を禪宗とし、夢窓疎石禪師の關基、遊覽の客にして此處を一見せざるものは京都を談ずるの資格なしと稱せられる。

銀閣寺 金閣寺と相對し、淨土寺町の奥にある、足利義政の山莊たりしもの、金閣と同じく後に寺となり慈照寺と稱し、二層の樓閣池に臨んで聳え善盡し美盡し、凡そ建築上の豪華之に通じたるなしと稱せられる、特に庭園奇石樹木の配景、日本造庭の模範と稱せられる。

北野神社 菅原道實公を祀つた同神社は市の西北端、今小路を出た處に在つて建築崇嚴、境内清淨にして神威自がら人に迫るものがある、參拜常に絶えない。

大徳寺

一休宗純禪師の史實で名高い同寺は、市の北端紫野にあつて禪四流の内臨濟宗に屬し大徳寺派の本山となつてゐる。

本能寺

織田信長が一世の雄圖を抱き乍ら逆臣明智光秀の爲めに弑された故跡で、三條大橋の近くに在る。

加茂川

京都の代表的風物は加茂川の兩岸に於て遺憾なく見ることが出来る、川は市の南北に貫流せる清流で、詩に歌に詠ぜられ既に全國人士の等しく知る名所となつてゐる、有名なる七條、五條、四條、三條等の橋は何れも此の川に架せられた橋で、春は友禪栖す朝の風情、夏は橋上河畔の夕納涼、四時折々の眺めは河畔の柳の色さまざまに移り變つて、京美人の肌に通ふ水の美しさを京の人々は誇の種としてゐるのである。

樂賑地には

新京極の殷盛あり、三條大橋の西に位して、劇場、寄席、飲食店等處狭く櫛比し、京都第一の繁華地たり、夜櫻に名ある祇園町は四條の橋を東に近く、絃歌夜より曉に達し、大石良雄の伴狂せる一方あり、都踊に名高い歌舞練場も附近にある。

島原遊廓

夜を晝なる歡樂の巷、島原は市の西端丹波口停車場の東に在つて、今は昔時の盛觀

を極めてはゐないが、依然たる一廓、遊客の出入繁く、廓門にある出口の柳の幹老いて、星霜幾年の歴史を偲ばせてゐる。

嵐山の勝景

京に來つて嵐山を見ぬのは、東京に來つて宮城を見ざるが如きものである。

七條停車場

即ち京都の入口たる停車場で、東京に於ける東京驛に等しい、最近の落成で建築雄大善美、様式の最新なるは東京驛に一步を進めたものと稱せられ面積に於て稍小なるのみである。

日本一の奇觀

舟、山に上るインクラインは市の東北南禪寺前に在つて延長三百二十間の阪路を電力で舟が上つて行くのである、上る事三丁で疏水乗船場があり、舟は山を越えて大津町に出で近江の琵琶湖に出づるのである。

伏見桃山陵

明治天皇陛下は實に日本華國以來御歴代の天皇何れも聖明文武に渡らせられざるはなきが中にも、神武天皇と共に叡聖文、武、至慈至仁に在し、明治維新の大業を成就し給ひ、日本中興の英主として宇内の崇敬を御一人に集めさせられ、日清、日露の大戦に、國威を八荒に輝かし給ふた事は國民の記憶、永なへに新らしき處である、明治四十五年七月三十日、萬民の熱禱し

奉つた靈驗もなく、遂に御登遐あらせられ大正元年九月十三日御靈骸を遠く東京より京都伏見桃山に御歿葬あらせられた。

其他の名所 以上は京都市の内外に於ける名勝の大略であるが、勿論京都は全部を名所と稱するも不可なき處であるから詳細に至つては此の小冊子に於て盡し得べくもない、寺院、神社の省略せるものゝ多々あるが概略して見れば以上の如くである。

大阪府の沿革

大阪は一名難波と稱す其の名は皇祖神式天皇東征の時浪速しと宣ひしに始まり景行天皇の御宇には御津の濱と呼び後大江の阪と改め更に大阪と云ふに至りしなり降て元和八年徳川氏城代を置き東西兩奉行所を設け北南組及び天満組の三郷となし更に維新後大阪府を置かれ市制を布き明治三十年に至り郡部を編入して現今の八百五十七町と云ふ大都會となれり大阪は鐵路渠溝縱横し文明の利器一として備はらざる者なく世人稱して煙の都水の都と稱するも又謂れ無しとせず古來より日本第一の商業地であるが名勝古蹟も猶夥なからず以下其著名なるものを略記すべし。

南北上町

南部上町 玉造 稻荷は市内稻荷社中最大なる者で眞田山幸村陣跡此の附近にあり欽明天皇を祀りし上の宮は萩の名所として名高し、北部上町東横 堀河以東の高地は上町と呼ばれ北部即ち城附近は陸軍の兵營等にて借行社砲兵工廠皆周圍に在り、大阪城は豊公心血を注がれし難攻不落の名城なりしも元和以降各變遷の爲め今は只牙城を存するのみ、八軒屋其南詰にあり、森の宮は四天王寺の舊地 鵠の宮と稱し聖徳太子の御父君用明天皇を祀れり。

天王寺附近

荒陵山四天王寺は東西八丁南北六町の巨刹なり、聖徳太子の創建に係り如意輪觀世音を本尊とす、金堂の後に講堂あり阿彌陀勢至虚空藏を安置す、東南部に聖徳太子の廟あり左甚五郎の作と云ふ猫の門は其傍に在り、大釣鐘は高さ二丈二尺四萬五千貫あり、壽法寺は俗に紅葉寺と云ふ、秋色見るべく關帝廟は其南方龜林寺にあり。

高津生玉附近

生國魂神社は官幣大社にして大國主命を祀る本殿八棟造りは匠家の範と稱せらる中寺町源正寺坂角にあり糸櫻の名所たり此の附近に岩見重太郎の墓あり。

道頓堀

日本橋南詰より戎橋に至る數町の間で辨天朝日角中浪花等の劇場櫛比し二六時中橋木の響絶間なく千日前の殷賑雜沓に至つては淺草以上である諸種の興行物又軒を並べ法善寺内の

金比羅、自安寺、妙見坂町の天満宮杯賽者踵を接す此附近難波停留場あり南海鐵道の起點にして住吉堺を経て和歌の浦に至る。

木津難波

湊町停車場關西線の起點にして大和より伊勢奈良等に通ず鐵眼寺は慈雲山瑞龍寺と號す市内第一の禪寺なり木津の大黒天は甲子の日賽者多し汐見橋停車場は高野鐵道の起點なり。

堀江島の内

蓮池山和尚寺は阿彌陀池と唱へ本尊は一光三尊の金銅阿彌陀佛なり戎橋以北の筋は市内第一の繁昌地なり有名なる吳服店及び各種の商店相櫛比し互に綺羅を飾り顧客を迎ふ西北二丁に眞言宗の名刹三津寺及八幡宮の社あり四ッ橋は西横堀川と長堀川と十字せる點に架り電鐵の幹線又此所に交又し富豪住友家は長堀川の極東安綿橋の南詰にあり。

船場鞆京町堀

市の中央船場附近には富豪大店等が大分ある心齋橋筋は島の内と同じく賑ふ鞆京町堀横西岸筋には陶器商多く阿波殿橋北詰には高野山出張所あり維喉場は百間堀東岸に在り紀伊水道瀬戸内海より檜柏子勇間敷入津して毎朝鮮魚の大市は東京日本橋の魚市場と彷彿たり。

新町江の子島附近

新町の青樓今は皆南に移りたるが往時は辨筆町と唱ひし者なり新町通りは區内第一の賑にて有名の吉田屋あり夕霧の袷衣等を藏す立賣堀北通りには鐵商多く材木商は西

長堀南岸にて隔朝大市を爲す奇觀なり江の子島府廳は明治七年の築造にて構内に議事堂警察本部等あり川口町には大阪商船會社本社あり四國中國九州臺灣朝鮮等の汽船の往復晝夜絶ゆる時なく市の翫手なり。

九條松島築港方面

市内各遊廓の内で青樓妓數の多きは第一松島なるが品位は劣れり築港方面の三軒家には大阪紡績會社あり之に向つて攝津紡績會社の大工場あり天保山には燈臺及築港事務所あり。

福島及中の島

福島五百羅漢は妙徳寺にあり有名の禪寺なり野田の藤花は福島日本兩紡績會社の北方にあり中の島公園には圖書館あり東隣に公會堂あり日本銀行支店は市内第一の建築とすべく郵便本局大阪朝日新聞社あり。

堂島と曾根崎

明治四十二年の大阪大火に全滅以來市區改正の端緒として道路は頗る模範的に改善せらる北新地遊廓は大火後待合となり僅かに存するに至れり梅田停車場は關西無二の大驛にして禪宗多刹の寒山寺此の附近にあり。

天満と網島

府社天満宮は社殿の宏壯市内第一にして賽者頗る多し社後に天満座造幣局あり

網島は澱流を隔て造幣局に面し幽靜の地なれば豪家の別邸多し大長寺に小春治兵衛の墓有り近傍に有る櫻の宮は天照皇大神を祀る此邊の堤上よりは北河内一圓を見晴し最も春遊に適す。

市外

箕面公園梅田停車場構内箕面電車發車場あり箕電は車臺廣く遊覽に極めて好適の電車なり箕面公園は此の電車にて數十分間に達す京阪電車京都大阪間の電車なり中間に牧方鮎狩の名所香里遊園地等其他男山八幡等名勝多し阪神電車は大阪神戸間を聯絡す沿道に香露遊園地を始めさし有名なる灘の酒造家醸造元御影附近に櫛比せり。

東洋第一の大劇場『帝劇』

帝劇は代表的日本劇界の權威と稱せられてゐるのである、東京に來る人て帝劇を見ずに歸つたと云はれては耻の上の耻とせねばならぬ名所の中の名所であるが、芝居と云へば歌舞伎座や市村座の様なものばかりだらうと思ふ人には一寸説明をして置かねばならぬ、此の帝劇なるものが創立された原因と云ふのは從來日本の演劇といふものは上流社會からは下品なもの賤しいものと排斥されてゐたもので外國の様に皇帝陛下や皇族殿下が駕を曲げられて御見物に成らせられる様な事は絶對になかつた、處が日本も段々西洋諸國と仲間入をして來た昨今演劇界の發達が此の儘では誠に外國に對しても耻かしい、何とか模範的な大劇場を起し出演する者も立派な人格ある者を選び、皇室を始め奉り貴賓方の御觀覽に供しても差支ないも

のを造らなくてはならぬといふ義が識者の間に提唱され、扱てこそ明治四十年からこの帝劇といふ大建築の工事に掛り前後四ヶ年を費して四十四年に至つて落成した、其の費用は九十萬圓を要した。舞臺から、觀覽席から、五分も透かさぬ善美華麗を盡し歐米の大劇場に比して毫も劣らぬ程のものとなつたとは嘘の様であるが一度入場して見た人に聞けば直ぐに判る、大劇場と云ふ名に怯へて未だ見ぬ人があつたら決して遠慮なく入つて見給へと敢て勧する。

建築界の重鎮竹田源次郎氏 單に其實力と信用とを以て陰然建築請負業者の牛耳を執り、同業者の重鎮とまで尊敬されつゝあるものは、京橋區新富町一丁目に堂々たる本店を構へて神速に設計請負を爲しつゝある竹田組の主腦

竹田源次郎氏である。氏が獨立竹田組を創業したのは、今を距る三十餘年前である。其經歷は、逆も一朝一夕に語り盡せない。優に明治立志傳の幾頁を飾つて光輝あるものである。

けれど大業は一人て成就するものではない。古來幾多の成功者には必ず其股肱の臣あつた如く氏にも其羽翼となり、爪牙となり、氏の敏腕をして益々靈ならしめたものがあつた。曰く支配人長谷川源次郎氏、曰く横田三吉氏はれである。竹田氏が事業の經營に就いて天才を有するのみならず、他の天才と技倆をも併せて利用する鑑識に就いても群を抜いてゐる。長谷川氏の如き有爲の人材を登用して竹田組の樞機に當らしめたのは慥かに氏の明眼炬の如き實例である。全體竹田氏が信條の第一義として、常に自ら奉じ部下を戒飾

する處のものは何事も唯一片の誠實にあるので、此二字を服膺して懈らねば決して蹉跌を招く事はない、更に之を其經營に就而具體的に説明すれば、契約の日限を確く守つて、必ず之を履行することである故に氏が請負ふた工事に就て、契約金額の内幾許の利得したと云ふよりも寧ろ契約日限の内幾許の日時を早め得たと云ふ方がどれ程嬉しいか知れぬと云ふのである。長谷川氏は竹田氏の知己に感じ明治卅七年以降竹田組に入り、以來偉大なる貢献をした事は殆んど枚擧に遑なく、尙盛に横田氏と共に活躍して居る。

信賴すべき辯護士 辯護士特許辯理士として盛名の高い廣瀬重太郎君は又信賴すべき辯護士として紹介せねばならない一人である。君は山梨縣の人明治卅七年辯護士となつた。一般訴訟事務に従事する中でも専ら民事及び刑事

を得意として同郷の先輩根津嘉一郎氏の知遇を得て各會社銀行殆んど枚擧に遑なき多數の法律顧問を兼ねし外、吾妻運送株式會社監査役、ルナパーク株式會社取締役等となつてゐる。電話は長浪花三五四八番である。

大學赤門前の名物店瓜生藥局 調劑藥局として帝都第一流の稱がある。常に海外の新藥を直輸入して調劑をする外有名なる賣藥、滋養品、化粧品、衛生材料、醫療器械等に至るまで何一つ販賣せざるはなき東京帝國大學醫局の指定調劑所である。顧客は帝國大學の博士學士醫學生を始め専門家多く、一般患者でも特に調劑の正確を望む者は態々遠方から同店を尋ねて來る向きも尠くない。殊に同店では檜野岩崎の兩醫學士を聘して懇切に診察治療を行ひ、あらゆる設備を悉して顧客の便利を謀つてゐる。

因に記す 澁澤男爵を始め有力なる人々の發起で淺草公園へ建設されてある慈善家の模範瓜生岩子刀自は現主祐次郎氏の祖母である。之れを以ても同氏の性格と同店の信用を推知せられる。

吳服太物問屋老舗山下商店

吳服太物問屋として日本橋區長谷川町かめ屋

號山下商店の名は音に響いたものである。誠實、勤勉、薄利、多賣と此四大綱目は同店の家憲で、其商賣振の實直にして那處迄も堅い所は、道に堂々たる大商店の風がある。初代忠七郎氏は房州の出身今の二代目忠七郎氏は先代の遺業を継ぎ熱心と誠實とで勉強した結果隆々として發展し一ヶ年の商品賣上高は、實に數百萬圓の巨額に及むのである。而て一方支店を京橋區八丁堀地藏橋及び下澁谷に設け最も低利に質屋營業を爲してゐるが、是れ亦頗る繁昌で、出質入質共多いことは東京第一流の稱がある。

室内裝飾は銀座の荒井眞畫堂に限る

室内裝飾の雅俗が其人の價値に關する

るのは大なるものである。殊に繪畫額面額縁の應用は最も意匠を凝らして、總ての配合對照に注意せぬと飛んだ物笑を受ける。現今繪畫額縁の良品を蒐集して第一流の稱ある販賣店は先づ銀座尾張町の荒井眞畫堂である、本金高蒔繪御紋章附御眞影各種取揃へ數千種を揃へて、繪に應じ室内の裝飾に應じて調製の巧妙を極めてゐる。品質は孰れも堅固高尙を旨としてどんな型でも間に合はぬものはない。同店は別に繪畫部を設けて各大家の揮毫畫版畫等は亦幾千種と揃へてある、殊に其特色は價格の低廉なる事である、是等の名畫を見ながら好尙の撰擇を凝らすも東京見物中の最も愉快なる課目であらう。

世界的大商店三越吳服店

帝都の中樞日本橋區室町角に巍然雲を摩せんば

かりの一大建築物がある之れぞ日本デパートメントストアの開祖、三越呉服店の営業場で、七階の大店舗、ルネサンス式の規模宏大、階上階下の昇降には最新式のエレベーターがあり、最高部の塔の下には帝都を一目に瞰下する屋上庭園を設け四季の草花、色とりどりに咲き匂つて蟲も唧けば、月もさす、これが空中にある庭園と誰が思はむ、真に其の設備の完全無比驚くに堪えたものである。

三越呉服店の聲譽は、今や日本の三越ではなくて、世界の三越と云ふべきである。一小賣商店として實に一ヶ年の賣上高が無慮壹億萬圓とは何んと驚かざるを得ぬではないか、恁かる隆盛なる同店の總てを記述せんには到底一部の冊子とするも盡く之れを述べ盡し得ぬから、左に同店の概要の概要を摘

記して、聊か紹介するとしやう。

之れが総合的にいへば、同店の特色はデパートメント、ストア則ち百貨商店、言ひ換れば人生一代に必要な有とあらゆる者は何でもあると云ふ譯だ。仕入に付ては内國でも海外でも、總て問屋の手數を省いた直取引で、呉服太物洋服は勿論、其他なんでも夫れが盡く正銘正札附きになつてゐて、東洋デパートメント、ストアの標準を示して居る。

(51)

地紙印仲買店橋 薫氏 當今株式界での傑物として、顧客の信用もあり、同業者間の推敬もあるのは地紙印橋薫氏である。本店は日本橋兜町四番地にあり明治三十年五月の開業であるが、氏の斯界に投じて頭角を擡げ出したのは、寧ろそれ以前日清戦争の前後である。然し今日斯く迄に信用と推稱措く

能はざらしむるに至つたのは、一に氏の穎才頓悟が與つて力あるにもせよ、又一に氏が掬す可き人格の人であると云ふ處にある。

氏は即ち猛烈なる直取引の主唱者で、其の改善に向つては、自己の利益をすら省みず、全力を擧げて盡瘁すると云ふ處などは慥かに稱揚すべき價ありと思ふ。良い使用人を使つてゐる處は益々同店の動きなき隆名を大盤石の上に置くものである。

丸水印渡邊善十郎商店　よし鐵橋は折れる事があるとも渡邊商店の基礎に於ては斷じて動搖することはない、株式取引仲買の老舗、其堅實なる遣方は信用を以て立つ可き同業者の模範である、同店は日本橋區兜町株式取引所正面入口のまん前右側の而も角店で、堂々たる店舗を有し店員數十名盛んに取

引を主宰して専ら現物の賣買を取扱つてゐる。

渡邊氏は大兵肥滿温厚篤實の始紳士である、令嗣善十郎氏は店務萬端を掌理して居るが、渡邊氏か機を見るに敏なると果斷快刀亂麻を斷つ如き手腕とは、實に同業者間の崇敬推服する所で、また善十郎氏の事務を執る簡捷機敏等も氏に負ふ處尠少ではない。

風月堂の好評　風月堂の名で開かれた菓子舗が一度世の歡迎を受けると、奸商人等は我もくと同じ名前で菓子店を開く。その風月堂菓子舗のうちで最も有名にて事實嘗味に富み、衛生上にも益こそあれ害なき商店は、神田淡路町に於ける穂積峯三郎氏の風月堂(電本局五三九、一一八八)である。穂積氏の勉勵はよく同店をして他店の上に立たしめ、附近は愚か他店の人に至る

まで同店發賣の菓子くわしの良好なるを知らぬ者はない。殊に夏時かじに於ける同店のアイスクリームは獨特の好評かうひやうを得て居る。主人穂積氏しゆじんほすみしはまた菓子商とは云ひ身を以て衆に殉じゆんずるの人、種々の公共事業に盡した事は今まで非常ひじやうであると云はれて居る。

新杵の名物セキトメ梅干 良薬りやうやくは口に苦しと昔から相場さうばが定つてゐるが、旨くすりくつて薬になると云ふ新杵しんきぬのセキトメ梅干などは珍中ちんちゆうの珍と云つてもよからう。同店どうてんは神田區平川町和泉橋際ほんてんにあり、本店を横濱市南傳馬町に、支店を全国各地に置き、其の味の美味びみなのと衛生的で滋養豐富じやうほうほなのが評判ひやうばんで、殊に咽喉ごきんき、呼吸器こきき、感冒、咳嗽せき、小兒百日咳等の諸病に悩なやむ者が一度之を愛用すれば病苦びやうくを忘れ頗さうくわいる爽快を覺ゆると云ふので聲樂家、講談家かうだんか、謠曲家等

は勿論一般家庭の愛好物ちいかうぶつとなつて稱讚しやうさんされておる。

空氣枕は空氣屋本店に限る 空氣枕くうきまくらの元祖として誰知だれしらぬものゝないのは本郷區本富士町二番地の空氣屋本店である同店ほんてんは明治十一年の創業さうげんと云ふ素晴らしい古い歴史れきしを持つてゐて、我國に空氣枕くうきまくらを供給そました抑もの始である。店主廣島友三郎氏は明治維新めいしん當時から専心此の研究けんきゆうに従事し、幾多の艱難かんなんを嘗め、今日漸こんにんく完成の域に達したものである、既に内外博覽會では名譽めいよの賞牌及賞狀を受領し其の製品せいひんの精良他に比類ひるみなきを證據しやうこ立てゝ居る。此の點は他の小賣居こうりてんや取次販賣等の較くらべ物にならぬ處である。處が近頃粗惡にして安價あんかの濫造品ぞくしゆつが續出して尠せうからず空氣枕界の聲價しやうを失墜しつゐせしめつゝあるを奮慨ふんがいし同氏は多年練磨れんまの技倆ぎりやうを以て、特に其の原料げんれうを精選し其が名聲めいせうを挽回はんくわいせんと

腐心ふしんしつゝあり。運賃うんちんの非常ひじょうにかゝつてゐて高價かうかな舶來品はくらいひんに比較ひかくして安價あんかで、堅牢けんろうで、氣持きぢがよくつて、輕便けいべんで、頗おほる衛生的えいせつてきな空氣枕くうきまくらの欲ほしい者は先づ第一だいいちに同店どうてんを叩たたいて購あがなふ可べしてある。歐米各國等おうまいかくくわうたうへも盛さかんに輸出ゆしゆつしつゝあり。

犬博士の犬病院 現今けんこん東京市とうきやうし内に家畜院病かちくびやうめんと云いふ病院びやういんは頗おほる多おほいが、中なかにも最も古い歴史れきしと信用しやうえんとを以もつて名聲めいせい噴しやく々くたるのは京橋區新富町五丁目十四番地きやうはしにかちくびやうめんにある京橋家畜病院きやうはしかちくびやうめんである、院長須永孝三郎氏ちやうげんすゑこうざうしは、栃木縣とちぎけんの人ひとで、幼こにして斯業ししげふに志しし、明治二十四年初めいしめて同所どうしよに犬猫專門病院いぬねこせんもんびやういんを創設さうせつしたのであるが、其當時そのたうじ東洋とうやうに於おても未まだ曾こて此種このしゆの專門病院せんもんびやういんあるを見みなかつたが爲ためめ、著あしく世上せうじやうの注目ちゆうもくを惹ひき、東洋とうやうに於おるけ嚙かうし矢やの犬病院いぬびやういんとして最も光輝くわうきある名譽めいよを擔になふたものである、爾來じらい三十年一日さんじゅうさんねんいちにちの如ごとく斯界しきかいの研讀けんさくに餘念じよねんなく其の熱

誠まことと其親切しんせつなるとは遂ついに斯界しきかいのオソリテおそりてとして大方たいほうの信用しやうえんを博ひろし犬博士いぬはかせと唱ならるゝに至いたつた偶々ぐうぐう日露にろの役起やくおこる哉や特に選えらばれ第二軍兵站病馬廠長だいにしゆんべいけんびやまぢやうぢやうを拜命はいめいし、令聞れいぶんあり、凱旋後功がいせんこうにより勳六等瑞光旭くわんろくとうずいくわうきよくじつしやう日章にちしやうを授與じゆゑせられた其後同院そののちどういんを擴張たくわうし堂々たうたうたる洋館やうくわんは築地川きよぢがはに面あしたる合引橋畔あひびきはしはんに建設けんせつされ醫員いゐん數名すうめいを聘へいして畜犬ちくけんの診療しんれうに應おじて居ゐるが日ひに月つきに隆盛りゆうせいを極こめ同院どういんの診療しんれうを受け居ゐるは畏おそくも各宮家かくみやうけを始めとし華族富豪等くわぞくふがうたうしやう多數たうすうにて目下入院めいげにういんせる犬猫いぬねこ丈ただけても數百頭ひゃくとうに達いたし何れも皆貴顯紳商みなきけんしんしやうよりの依た托たくである又同氏またどうしは一面公共事業いっぺんこうきぎぎやうにも盡じん瘁すゐせられ幾多いくたの名譽職めいよしやくをも兼ねて居ゐる。

精神病腦病の専門根岸病院 根岸病院ねがしびやういんは院長松村清吾氏ねがしひらむらたけみちよしの經營けいゐで、下谷區上根岸かみねがしに在ある院長松村氏ちやうげんすゑこうしは温厚篤實おんこうとくじつの人ひとで、君子くんしの風かぜがある、精神病せいしんびやう、腦病のうびやう

病院として市内最古の歴史を有して居る。朝野の推稱する所頗る高く、病院は特に大規模で、即ち遊戯室、娛樂室、應接室、狂操室、醫室、看護婦室、事務室、等の數十室あり猶ほ男子室と女子室とを區別してあるが、さしもに廣き各病室の掃除等の行届き居る有様などは、迎も他の病院で見られぬ程であるから、總ての點から見て氣持ちがい、又院長松村氏は淺草千束町に住居し、同區會議員を始めとし其他各種の名譽職を勤めて居る患者に對しては院長を始めとし醫員一同が親切丁寧な事は世間一般の評判である。

肛門病の人は東京肛門病院に行く可し 東京肛門病院は芝區西久保櫻川町三番地で、院長は谷泉氏である、構造の壯、設備の完、共に院長の手腕と相待つて他に比較すべき處はない、院長谷氏は四國出身の人で患者に對しては

親切丁寧至らざるなく氏獨特の手腕と技倆とに依り流石に廣い病院もいつも患者を以て充滿する程の繁昌である。特に谷氏は負けず嫌の人で頗る擊劍を好くするが一流の劍客中山資信氏や日比野君なども氏の太刀風には舌を卷て居るとの事である其他義太夫にも趣味を有し曾て故鶴澤仲助の門に入り數ある門弟中でも氏の音聲や節廻しの巧妙なるには殆んど黒人も素足と云ふ有様であつた、先年東京毎日新聞社主催素人義太夫の投票の際などにも氏は最高點で當選し賞品を贈られた程である、東京肛門病院は市中は云ふに及ばず東洋唯一と云ふを憚らない。

良乳松岡搾乳場、松岡搾乳場は明治二十二年の創業で現主先代松岡淺次郎氏が始めて同地を下して牧場を開設したのである、現主松岡寅藏氏は善く故

嚴父の後を繼承され益々良乳の搾取を計り業務は倍々發展して敷地數千坪の大牧場に七八十頭の良牛を放養して居るのである曾て去る明治四十一年東京毎日新聞社主催て全國搾乳家大投票の際にも同牧場は最高點を得て同社より各種の賞品賞狀を贈與されたのである此の一般でも同場の牛乳が如何に好評であるかを伺ふことが出来る、牧場は京濱線學校裏停留場際。

上護谷生民軒牧場の良乳 生民軒牧場は府下上澁谷、東京衛戍監獄署通用門前にある大牧場である場主を都築安太郎氏と呼び埼玉縣の人現在の地に牧場を開いたのである牧場には數十頭を飼育して、盛んに良乳の卸小賣を成して居る又都築氏は牛を見るのに妙を得て駒場農科大學等へも常に牛の鑑定に雇はれて行き又同校生も盛んに氏の門を叩いて、教授を受けて居る先年東京毎

日新聞社主催となり全國搾乳家の大投票を行つた時にも、生民軒は大多數で當選し名譽の月桂冠を得たのである同牧場の、ホルスタイン・エアシャ・シ等の種牛は殆んど天下一品無比の良牛との評である。大正博覽會でも名譽の賞牌を受領され帝國農科大學等の牛乳御用をも勤めらる。

東洋無比の滋養品人乳代用一名玄米長壽ミルク 淺草區松葉町八七番地兒島兄弟商會(電話下谷三二〇七番)で製造發賣する玄米ミルクと玄米スープは故陸軍藥劑監石塚左立先生の遺法である滋養の大王にて玄米を素として之に各種の滋養素を加へ精製調和したる玄米以上の滋養物であるこれ即ち故石塚先生が多年學理と實驗との兩方面に於て研究した結果液體中玄米の乳に優る滋養物は他になしと斷定せられたる滋養強壯劑の大福音である玄米の乳は前

述の如く人體の營養に取つて比類なきは勿論て而も價は牛乳『コンテンスミルク』の三分の一である四季を通じて腐敗の恐れなく携帯に尤も便利で而も風味の佳なるが故に如何なる人の嗜好にも適する最新の理想的滋養品である不便の土地では牛乳もミルクも困る處もあるがこのミルク計りは如何なる處へ持つて行つても即座に吞める至便の者で旅行者にも便利である病者が重湯の代りにしても小兒が人乳の代用にしても又は健康の人が滋養劑としても如何なる方面に用ひても世界無比の滋養物である上述の如き至便有益の者故に畏くも梨本宮家を始めとして東久世伯錦小路子、澁澤男各家の御用命を辱ふし各府縣博覽會等では賞狀金牌數十個を受領する等無上の光榮を擔つて居る。大販賣所は神田表神保町十番地兒島兄弟商會である。

製圖建築は山尾技師に限る

山尾新三郎氏は麻布新網町二の十七に住居を構へて居る氏は泉州岸和田の出身で上京して自ら奮勵刻苦すること年あり一難ごとくに技を磨き宮内省に雇はれて居ること十餘年その間敏腕の聞え高かつた後獨立して請負業を始め實に斯界に貢獻頗る多く同氏の設計建築されたる者は枚擧に遑がない氏の名聲は隆々として旭の登るが如く昇上し現今に至つては四方よりの申込に對し挨拶に苦しんで居る宜なる哉斯かる絶大なる信用を博せるは一に氏の實力に依るもので世の阿諛瞞着を事とする請負業者中にあつて眞に萬綠叢中紅一點である尙同氏は設計製圖等に於て非凡の腕を有し博士も及ばざる神技能を發揮して同業者を羨ませ世人を驚かして居る。

敏腕で聲望の高き辯護士福田又一氏

東京市府會議員並神田區會議長福

田又一氏は、其の身は辯護士として令聞ある外に同志會前代議士として名聲藉甚たるものがある。併も人物として偉大なるが爲めに各會社の顧問として彌上にも名聲を馳せて居る。

氏は埼玉縣比企郡の人、一度思ひ立つたことは之を貫かざれば止まずてふ不屈不撓の精神を有し、粉骨碎身する多年、その間幾多の障害は氏をして益々奮闘の人たらしめた。今日に於ける氏の地位と名譽とは決して偶然の賜物ではない。電話神田一九七〇番。

川越町渡邊銀行の確實 地方にも銀行の數は隨分ある。然數幾らあつても實質が之に伴はずば無いと同じ事だ地方には一時的の銀行がかなりある、一寸好奇心に驅れてやつて見るが基礎が堅固でない爲に直ぐ破産しなければな

らなくなるその地方銀行の中で埼玉縣入間郡川越町に在る渡邊銀行は基礎の確乎不拔なる點に於て又信用ある點に於て一頭地を抜いて居る。頭取渡邊吉右衛門氏は同町一流の資産家で同南町には宏大なる店を有して吳服太物の卸小賣をして居る、着實なる資性を有し人に對してまた同情厚く各方面に取て信用を得て居る、支配人なる菅野貞行氏も確實不動の人で頭取渡邊氏と相俟つて同銀行の柱石となつて居る。

淺草公園第一の割烹店一直 瀟洒たる亭樹綺麗なる樓臺、參差として泉石竹樹の間に隱顯し、絲管の妙音嫋々雲に入る。金龍山公園の熱鬧場裡別に幽邃の仙境を劃して、貴紳の銷金窩たるものは割烹店一直である。數百人の大宴會より對座の低唱淺酌に至るまで、歡に適し興に應じて其設備待遇の高尙

叮嚀なるは道第一流の割烹店たるに背かぬ。杯盤の間に幹旋する樓婢は梅柳櫻桃の艶を競ひ、亞字欄前曲水を通じて、紅橋縱橫彩虹を漣漪に落す所、頻りに醉臉の媚態を浮ぶ。若夫れ嬌喉妙彈の雪兒は、樓の附近數百歩の間、軒を連ねて風流才人の召命を待つてゐる。況んや蘭湯常に沸いて香浴自由である。浴後芳醇を呼びて珍羞を咀嚼し、三絃の妙彈に清唱の巧節を味ふたらば、正に是れ人間の樂士、天上の清景も亦遠からぬを感ずるであらう。

純粹の江戸ツ子料理金六亭 新橋の金六亭と云へば、江戸ツ子料理で通つてゐる、同店の特色と稱すべきは他の料理店て出す有り來りの調理を打破した點である、如何なる献立にも注意が實に行き届いてゐる、衛生的である、新鮮である、輕便である、春夏秋冬三百六十日、一日として献立の變らない

日はないといふのが同亭の得意である、金六亭と聞いた丈けても胸のすく様な名ではないか、名物の鯛の金六づけと云ふのは珍中の珍で、恐らく一度味つた人の忘れる事の出来ないものであらう、この名物を希望の客ばかりでも毎日大變な數に上るが全體としたら、此の店の如く一日多數の客を吞吐する料理店は附近一帶に類と眞似がないであらう。

東都一の京都料理平野家 京都圓山公園の平野家と云へば粹様先刻御承知の有名な料理店であるが、東京の眞中、而も日比谷公園前にこの平野家の支店が繁昌して居るのが嬉しい、調味の高尙、風雅な事は格別である、特に多福豆、芋棒鱈、京都すし等は珍味中の珍として、諸方の注文引きも切らずと云ふ、夫れて輕便な立食場の設備もあれば又婚禮宴會等は特に大勉強で引

受ける。何しろ一ト風變つた京都料理、大ひに舌鼓を打つ可しである。

因に畏くも、今上陛下御幼年の砌、御飲用遊ばされたる、宮城辰己の井は同家の門内に在り、記念の御井戸で菊の井と呼ばれてゐる。

純粹の洋食店 京橋鎗屋町のニユーヨークキツチンは店こそ大きくないが調理する品に至つては我邦第一流の西洋料理店でも出来ない珍品を提供するので頗る高評の店である。同店主は永く歐米各國に在つて料理法を研究して歸つた人物で苟も洋食に關する智識は細大漏さず知悉してゐる。従つて同店では普通の洋食店て出す様な平凡な料理は決して出さないのみならず、毎日必ず異つた献立表によつて清新な品を客に提供する、其の味の良いと調理の妙とは食べたる者でなければ想像する事が出来ないが、昨今に至つては其道

の通人から大いに持て囃されて益々盛況を見るに至つて好評噴々である。

名物の大王「竹葉」の蒲焼 鰻の蒲焼は東京珍味の隨一である。而て竹葉は

蒲焼店中の横綱である。昔は随分鳴らした蒲焼屋があつた。併し孰れも時勢の變遷に伴れて或ひは轉業し或ひは廢業し、今では眞の江戸前鰻の珍味を調理する所は何程もない。其中に竹葉のみは創業以來爰に百餘年間、今も昔の儘に、イヤ十倍も百倍も益々盛んに蒲焼を調進して其美味に高評を博してゐる。

三定天麩羅店は便利無類 現時の東京は政治經濟商工業の中心であると同時に趣味の中心である。殊に庖刀の風味に至つたら古來料理は江戸の花と唱へられてゐる位で、迎も他地方の企及する所ではない。之れ畢竟東京人士の

食味の嗜好が進んでゐるからである。三定主人眞田徳次郎氏が一代に今日の成功を致し、天ぷらといへば三定を聯想するまでに繁昌して來たのは、好く此の間の消息に通じて、風味の粹美を捉へたからであらう。唯に天ぷらのみでなくなつても出来る便利此の上はなし。

更に氏は公共事業にも盡精し、三十年東京十五區同業組合副頭取に擧げられ、次いで三十五年日本橋區料理組合組長となり、四十三年十五區組合頭取に進むだ人である。

打てて響く純粹の江戸ッ兒、稜々たる俠骨は庖丁の妙味と共に同業者間の花と謳はれてゐる。日本橋區人形町の本店、淺草雷門支店と共にどツちも負けず劣らぬ天麩羅及び料理の双壁である。

浪花名物大阪鮓の本家本元は采女町

大阪鮓は京橋區木挽町歌舞伎座前の

采女町へ明治三十二年現主人今里政七氏が夫人房子と共に大阪から出て來て開業したもので、本場で鍛へ上げた風味はまた格別である。同店の日の出大阪鮓は古代のさば、雀、むし鮓等を専ら自慢の呼物として（其他にも種々出来るが）之等の鮓を食べなければ決して鮓通とはいはれぬ令嬢りき子（十七は花も盛の美人で且つ愛嬌に富み、頗る評判が好い。確に新東京の一名物であらう。（電話は新橋三三一九番）である。

東洋に響き渡つた言問團子 花が咲いた、向島へても行かう、向島へ行つたら、言問の團子を持つて歸らう、土産にしないと外聞が悪い、見得もない、と言はれた名物の隨一、凡そ團子で日本全國に雷名を轟かしたものは、この

言問團子の右に出るものはない向島を歩くと『植佐』と染め抜いた袴纏を着た若い衆を見るが、これが言問團子の當主、外山新七氏から出入の者に出したもので、成る程流石は名物中での名物、植木屋佐七の後を繼いだ家だけあると、風流人の膝を叩かせる、明治維新の頃に、この植木屋佐七君の女房が、片手業に團子の店を堤に開いて、業平朝臣の歌に因んで言問團子と言ひ出したのが、今日の名聲を博した始めであるが、言問團子といふ名が、時の詩人成島柳北翁等の氣に入つて、グツと賞め立てられたのが抑も此家の繁昌の原因、明治元年から、今日まで家名を繼ぎ益々内外に名を響かせて來たのは偉いものである、現主人併號を澁川堂二峯と號して其角堂の逸足、人物すてに然り商賣物の團子も並一通りの品とは異つて普通の者とは比べ者にならぬ。

の團子も並一通りの品とは異つてグツと凝つた秘傳の製法、原料なり、味なり、到底も世間にある團子杯の比べものになつたものではない、春は花見、秋は月、隅田の風光を愛でる程の人は是非此家に立寄て、一服所望の其の後てお土産の一包を命じ給へと御すゝめする。

白髯祠畔の名物店入金 名物入金を紹介する、碧松緑竹參差したる中に小棲短亭、布置の妙を盡して、花晨月夕、貴紳、雅客の清遊に適し、料理兼旅館、大小二十有餘の客室は悉く泉石庭樹の間に點綴して靜閑、幽雅寔に江東隨一の樂園である、若し夫れ興來つて酒を命ずれば花醇盃に満ち、再呼して肴核を調へしむれば河海の鮮、盤裡に躍る、侍するに阿嬌あり、春宵を待たずして隨時に得べく、眞に一夕の銷金窩である、地は至便、江東の美妓系竹

を擁し。東都遊樂の士にして一度、此家の門を入らざるは蓋し迂たるを免れぬ。而かも女將入山金子の俠氣は四方の來客に對して懇切を旨とし、利欲を除外して、一意専心其の意に副ふ事を期待し、婢に命じて暴利を貪らしめず、蕩兒來れば諫めて去らしめ、近隣貧家の士女を救濟すること無數と稱せられ、愛嬌、俠魂二つながら備へて、同業界の崇敬を一身に集つゝあるのは敬服に値する、従つて來客の種類は上流、中流の士を主とし、馬車、自動車出入附近に比を見ない大繁昌を極めて居る。

不忍池畔の名代の料理店東仙閣 江戸の食ひ倒れも有難くないが兎に角江戸ッ子は江戸ッ子式の料理を食ふべし、江戸ッ子式の料理を食はんと欲せば上野池の端の東仙閣へ行くべし、鎌倉以來の粹を極めた純粹の江戸ッ子料理は

此の店の特色で餘り見る事は出來ない、場所はよし、家は極粹、酌女と仰せあれば女も候、酒は灘と御意あれば生一本樽に満ちたり、宴會でも、婚禮でも、花見の歸り、月見の途中、何でもよし、茶代や祝儀などは呉れても取らぬ、安直、輕便、お客優待これが同店の生命である。食通、上戸、下戸は勿論、鯨飲馬食黨何れも歓迎、珍の珍たる江戸料理の隨一て今回同店では三階新座敷を増築するとの事である。

コーヒーはカフェー、パウリスタが第一 京橋南傳馬町二丁目のカフェーパウリスタのコーヒーは南米ブラジル國サンパウロ州政府から囑托された品であつた喫店は、同區南鍋町二丁目及、日本橋堀留町三丁目にあつて何れも當代唯一のカフェーたる名聲を博して居り、神田表神保町の喫店も劣らぬ

好評現に益々發展しつゝある、パウリスタと云へば今や東都の人士によつて最も新らしい店として歓迎され喫店は日々満員の盛況を呈してゐる、勿論本店以外はコーヒーのみの専賣店ではなく洋食でも何でも命のまゝに調進するから、便利と美味とを欲する人は須らく喫店に就いてコーヒーの芳香に酔い、嶄新なる現代の食事を試むべしである。

關東名代の大梅園曙樓、大梅園曙樓、料理兼旅館で主婦河野もと子の經營

である京濱間第一の梅園として著る後方は本門寺の山を負ひ數百尺の高臺で空氣極めて佳く三千餘株の老梅樹下に南天燭を植ゑ足し石古く苔厚くして間に楓樹と杜鵑花とを交ふ中にも楓樹は三十餘種ありて秋よりは寧ろ春の芽生の時が好く中に小亭十數棟あり長廊下これに通じて殆んど別天地を成して居

る春夏秋冬の眺め殆んど飽くを知らず東風水を剪て曉に見る銀世界は言語に盡し切れぬ又鐵鑛泉あり諸病に效顯著じると因に同庭内には碩儒木下順庵翁の墓があつたが最近に市内大塚終點附近儒者塚へ移轉した。

玉泉亭の鮎漁理 玉川瀨田河原玉泉亭、西には富士を始め武甲相駿の連山

が一目に見られ己に座敷へ通つた斗りでも生き延る様な氣持ちになる故に畏くも宮殿下を始めとし貴顯紳士が同店を訪問する者頗多く特に夏季鮎獵の際などの繁昌と來たら迎も目の廻る様な大繁昌である大小客間數十室の他に別店も二軒ある河岸には涼み店もある景色がよく水がよく魚がよくて比較的廉價に遊んで來られるから繁昌するのは尤である。

臺灣烏龍茶は斯くの如くの人が始めた 苟も現代の紳士淑女で臺灣烏龍茶

を知らない人はあるまい京橋區銀座尾張町の喫茶店は此の茶の販賣處として有名である主人は千葉縣の多額納税者として名高い醬油醸造元ひげ田印の主人田中玄蕃氏の縁家で人格徳望共に備はりたる好紳士夫人も亦愛嬌滴るばかりの佳人である其の營様振りは最も高尚で總て優雅と誠實を主とし我利一點張の商賣人とは月籠の差がある店主の語る處に據れば商賣は素より利を得なければならぬのではあるが自分は唯單に日本人に新占領地の特産物たる烏龍茶の眞味を紹介せんが爲めに店を開いたのだから假令へ損しも決して悔まないと云ふて居る。茶を談ずる人は一度此の喫茶店を訪づれて一杯を試みざれば決して茶通と云ふ資格はない。

玉川の柳屋料理店

玉川に鮎獵宿料理旅館で有名な柳屋と云ふのがある川

(79)

に望んで大小數十間の座敷善美を極め、去る百五十餘年前上州沼田在の山中に樵夫次郎左衛門と云ふものがあつた。日常孤獨なるまゝに手飼の山鳥と赤猫とを愛で、居たが赤猫が戯れて、山鳥を傷け死に至らしめたるを悔い、其儘姿を隠したが、一夜其赤猫が來つて罪を謝し、遠からず歸り來つて、主の安泰幸福を祈る可しと夢み、三年を経て赤猫の木乃伊が、天井より現はれたので、治郎右衛門は之を奇とし祠を建て之を祭つた處が、靈驗の灼然な處から、遠近よりの參詣者頗る多く、其後又祠を同所に遷したが、參詣者は前に倍し、殊に花柳界の守護神として斯界の人々が陸續引きも切らぬのである。

花月印サイダーは斯の如き人格の人が作る 酒もビールも其の總てのものが餘りに濫造されると何品がいゝのか選擇に苦しむ、然し眞に品物のよいも

のは知る人ぞ知るで、此處に紹介せんとする花月印サイダー杯は、同サイダーの内でも隨一の名譽を負ふに足るものである。深川區東六間堀町二石川太次郎氏の日進舎(電本所二四三三三)が其の製造元で目下益々發展の盛況に達して居る。此の花月印シャンペンサイダーを一度飲んで、下戸も上戸も常に手離す譯には行くまい。其の味がよくて總の人。好かれるのであるが、製造主石川大次郎氏は千葉縣の人で、温厚篤實な人で同業者間にも重用されて居る。今春大工場を大川端新安宅町に新築して大發展を成し、盛んに製造されてゐる氏は川面又公共事業に熱心、其の徳を慕はれて居る。

發火自動速報機

發火自動速報機や變温自動速報機は共に文明の時代に適應した非常報知機で最も完備した專賣特許品である。本機は麻布宮木町二の

男坂下高橋植作氏が多年の苦心を傾注して發明し、神田須田町二三十文字商會に於て發賣に係るものであるが、特色は火炎の如く極急激に發生した温熱の變化が電流の装置に感應するので、感應力が最も鋭敏であるから、眞の自動に依つて速時に警報を發しられる譯である。殊に本機の構造は極めて簡単で容易に故障を生ずることなく何人にも自由に裝置する事が出来る。元來十文字商會は特許消火器を販賣すること多年であるが、消火器と双翼たる關係がある發火自動速報機の最も正確なものが發明されたので今回之を發賣することとなつたのである。何人と雖も非常に備ふべき自衛上特に必要な機具でなければならぬ。而も價格は發火自動速報機が壹個參圓貳拾錢變温自動速報機が參圓七十五錢である。

食料品と青木堂商店 牛込區通寺町五十一青木堂商店(電話番町二七五番)は西洋酒、食料品、和洋煙草、雜品の販賣舗として多大の信用を博し山の手隨一の評判となつてゐる。西洋酒は遍く各品種、を網羅し四季の好飲料として適する新鮮なものを提供してゐる。又食料品としては罐詰類、香飲料西洋菓子其他氣の利いた美菓種々殆んど無いものはなく、外國煙草も日本煙草も專賣局の指定を受け、何れも確實な物品を選び安價を主眼として販賣してゐる、従つて店頭は常に顧客雲集して大盛況を呈してゐる。又同店は顧客の便宜を計り御進物品は美麗で且體裁を飾り切手も調進し、市内各方面からでも電話又は郵便はがきて注文すれば早速配達する事になつてゐる。同店の販賣品が飽迄責任があり、良品を選んで正確を期してゐる事は同店が夙に宮内省

の御用達として用命を蒙つてゐる事が明かに證明してゐるではないか。

電氣器具と北上商會 電氣一切に關する器具は日進月歩の今日常に最も新なる製品を選んで求めなければならぬ。日本橋區人形町通り新和泉町北上

電氣商會(電話浪花四八二三番甲)は多年電氣器具の發賣に従事してゐるが、殊に近來は川崎なる東京電氣株式會社と特約し、世に定評あるマツダランプ

各種の販賣を行つてゐる。東京電氣のマツダランプが工場の設備完全で製品の優秀なる事は世上周知の事に屬するが、北上電氣商會は又此の純良なる製品を店規としてゐる勉強振りを以て販賣に従事してゐるので、顧客の信用を一層高めてゐる所以である。因て販賣品の種目は舶來電氣セード、美術切子セード、絹シルセード、食器コップ種に、タングス電球種に、電氣扇風機、

醫療電機、電氣スタンド、室内電話機、呼鈴器具、輕便手提電燈等で、先づ之等の電氣諸器具の品質確實なるものを求める時には北上商會を訪はれる事を切望する。

荒井眞畫堂の額椽

京橋區銀座通り尾張町荒井眞畫堂（電話新橋二五〇一番）は明治初年から額椽と繪畫の製造販賣に従事し、歐米各國から絶えず新意匠品を直輸入し、額椽類は如何なる品でも、同店專屬の工場で種々の新案に基き其の長を採り、精選な材料を用ひ熟練した技巧を加へ、銳意新作品に努力してゐるので、其の製品の堅固なものと優良な事は世の衆評を受けてゐる。申込次第精細な目錄を直送する由であるが、凡て注文に係る額椽は其の難易により一週間以上二十日間位で調製し、書面で問合せれば直ぐ出來期を報知

する事になつてゐる。兎に角額椽の眞美なのは家庭の調子を整へる唯一の美術品で、製作の技巧を最も貴ばねばならぬが、荒井眞畫堂の製品ならば、最も理想的で室内裝飾には錦上更に華を副ふるの觀がある、兎に角目錄一本を手にする時には精細を知ると同時に同店が如何に顧客の爲め親切丁寧を極むるかと判斷する事が出来る。

建築界の覇者淺野板

淺野板即ち淺野式合板が建築界に革命を與へた製材として聲價を現はした事は蓋し當然の結果である。淺野板は名古屋市淺野木工場に於て專賣特許の方法設備に依り製造する合板であつて、薄き木板を豎横に三枚乃至數枚張合せた後表面を普通の匏で削り上げたもので使用上普通木材と更に相違なく木材として最も貴重なる色澤光輝を永久に保存してゐる

ものである。建築用一般の木板として用途を擴めつゝある事は今更枚擧に違がないが就中既に使用の實驗に依つて好評を博しつゝあるのは、和洋建築及裝飾用、竿張り、天井、又は象簾入り、其他家具一式より諸器具の用材として其の應用範圍は侵々として停る所を知らない有様である。固より價格も低廉を旨とされ眞價に對して格安な事は眞に驚ろくばかりである、關東方面に於ける一手販賣所としては神田鎌倉河岸の淺野木工場の東京販賣店（電話神田一六五三番）で此處に取扱つてゐる。

世に定評がある「味の素」世既に定評のある『味の素』については敢て贅言を要さないが、人も知る如く東京帝大教授池田理學博士の新發見に係り、若心研究四年の星霜を経て完成したものである。此が有益な發明に對しては各

文明國の學界でも衷心から讃辭を惜まず、殊に日本政府を初め英米佛の各國政府も夫に專賣特許を附與して博士が多年の功勞に酬いたのである。仍て本舖京橋區南傳馬町鈴木商店（電話京橋三三〇—三三三三）で同博士に依囑し新發明品に對して、味の素と命名し、廣く世に出した所非常な歡迎を受けるに至つたのである。「味の素」は畏れ多くも屢々宮内省から御買上の恩命に接したのみならず東京大正博覽會及び米國桑港萬國博覽會を初め内外國博覽會及び共進會等に於いて常に好評を博し、名譽の金牌を授與されたのである。家庭の食料の調味料として最も宜しいのと同時に進物に之を用ふるのは最も當世風で氣の利いたものである。

娛樂王ニツポノホン蓄音器

家庭唯一の娛樂機關として蓄音器は最も進歩

したものの、一つである、蓄音器と云へば直ちに如來様が美音に憧れて繪から
 抜け出したマークを思ひ出す事が出来るが、即ちあれわ斯界で有名な日本蓄
 音器商會「ニッポノホン」のマークである。ニッポノホン蓄音器の機械が精巧
 を極め、堅牢で而も發音が美しく從來の蓄音器の如く不快な音響などは少し
 も立てず愉快な調子で、内外名人の音曲を聞く事が出来るのは特筆すべき特
 色である。尙ニッポノホノ一蓄音器の双翼として鷺印レコードはレコード界
 の最も完全なもので常に品質本位とし、日に月に新音譜を出してゐるので、
 蓄音器と共に随つて安心であれば、買つて徳用なことは勿論である。ニッポ
 ノホン蓄音器を用ゐ、鷺印レコードを使ふたなら眞に立派な音調が聞かれる
 事は請合て、日蓄の蓄音器とレコードがやがて家庭娛樂の覇者として立つの

も當然の話である。

西川商店と蒲團類各種

東京隨一の名所日本橋の大匂欄と並んで日本橋の

街頭に異彩を放つてゐる近江屋西川商店は創業以來三百有餘年間纏綿として
 傳はつた老舗で、初代西川甚五郎氏以來十二代目の久しき間日に月に進歩の
 跡を留めつゝ遂に今日の隆冒を見るに至つたのである。同店が蒲團類、モス
 リン、疊表本舗として他店に先ち商法に掛引なく、眞面目な營業を以て主義
 としてゐる事は既に世上周知の事であるが、飽迄此主義を一貫し品質の精選
 優良なものを出來得る限りの應價を以て調進發賣する事に努力する營業方針
 を重ねてゐる、西川の座布團、蒲團、西川のモスリン其他婚禮用の蒲團に西
 川製を用ゐれば品物が高尚で出來が好く、又西川の疊表は新草のかほりゆか

しい新鮮なことが喜ばれてゐる。店頭は開放主義で誰にも入り易く、又店員は懇切を旨とし注文には絶大の便利で遠方の顧客には營業の葉を送附する由である。

東洋唯一の食料品店 新橋の龜屋と云へばすぐと名代の食料品店であると

云ふ事を聯想する同店で販賣する者は世界各國の洋酒類を始めとし食料品では各種罐詰類、和洋煙草、雜品菓子類を始めとしてあらゆる珍物のみを蒐集して割合に確實な品を廉價に販賣して居る、又同店では特に純日本酒白鶴の一手發賣をも成すが品質優良とて賣行盛んである、其他佐伯博士が十五年間の苦心で漸く發明されたビータを販賣せるが高麗人參の有功生分へ脛子萌發の活力原素を合成した春の泉、不老長壽の靈妙な滋養物であると。

文明の利器は飛行器と自動車 道にや汽車あり馬車ありの言草は十九世紀

の昔に成つた、大正の今日では行くにや自動車飛行機でなければ逆も迅速の用事は足りないのである、此の便利な自動車屋を紹介する、京橋區銀座四丁目やまと新聞社の隣りて銀座自動車商會がある、店主は井上直次氏で埼玉縣人だが何處迄も自分が進取氣質の人であるから自身で運轉迄して經營せられて居るが『電話京橋一九八四番』であるが此の店の自動車は車臺も頗る立派で乗地心よくパンクなどの憂が毫しもないので注文多く目が廻つて手が廻り切れない程繁昌して居る、自動車御用の方に御推薦する。

■三府と近郊の花柳界芝居寄席 活動料理店旅宿土産物案内

遊覽者が先づ東京近郊の花柳界に遊ぶならば、料理屋に入るとき杯酌に侍せしむる爲め、藝妓を招くなら東京ではその多い事は全國無比、新橋南北の金春、烏森、柳橋、芳町、赤坂、講武所、同朋町、數寄屋町、大工町、檜物町、神樂坂、淺草公園、湯島、神明町、富士見町、飯田河岸、新富町、津の守、向島、麻布、白山、龜井戸、品川、大森、板橋、目黒、道玄坂等の八方十方に御神燈を吊るして藝名を書する者總て八千人近く、吉原、洲崎等には眞個に腕を以て鳴る藝者が多い、然れども他區から郡部に亘つては、藝一方と云ふは少い様であるが、といつてどこでも招けば直ちに杯酌には來るか何か他の註文があれば、其の料理店又は待合の女中とか或は女將とかに交渉するが近道だと云ふ咄しだが著者無粋で、詳に語る事が出來ず、遊覽者の自ら御實驗に御任せする。

遊廓北は吉原、南は品川、西は新宿、東は洲崎之れが東京で四遊廓と云ふ總數五千餘人、何れも歌舞の菩薩の色揃へ妍を競へ嬌を争へ盛んに遊客を歡迎して居る。

既に四方の勝區を見て、旅館の料理のみでは満足が出來ないから昔しの江戸前料理の風味を賞し度くなる、仍而數百軒ある中で東京古來から評判の良い料理を紹介する、先づ芝區は湖月樓、紅葉館、竹芝館、京橋はみどり家、花月、松本樓、新喜樂、香雪軒、萬安、日本橋は福井樓、草津亭、大又、中華、百尺、下谷は常盤華壇、東仙閣、伊豫紋、いかほ、淺草は一直、龜清、深川亭、八百善、柳光亭、ときわ、松田、神田は開花樓、金清樓、本郷は萬金、魚十、松月、麴町は星ヶ岡茶寮、富士見樓、魚久、赤坂は三河屋、八百勘、牛込は末吉、求友亭、本所は橋本、伊勢平樓、向島は入金、八百松、奥植半等が尤も著名な日本料理店である。

此外西洋料理は帝國ホテル、築地と上野公園の精養軒、芝公園の三縁亭、神田の食道樂のなとわ亭、三河屋、多賀羅亭、日本橋の八洲亭、富士見町の富士見軒、京橋の精進軒、ニユヨークキツチン、淺

草のヨカロウ等尤も著名である。

蕎麥は麻布の更科、神田の柳ぎや、四谷の福本等で、支那料理は浅草の來々軒、日本橋の借樂園で、蒲焼は新富町の竹葉、神田の神田川、梅の井、日本橋の大國屋、芝の栗本、龜清、浅草の奴と重箱等名代で、壽しは采女町の大阪すし、下谷の松山すしと大阪すし、神田の末廣壽し、しの田すし、日比谷の千代田壽し、兩國の與平壽し、柳橋の松の壽し、根岸の笹まき等名高い。牛、鳥は神田の中川、今文、ときわ、池國、京橋の富嘉川、高砂、壽鶴、松喜、末廣、青山のいろは、四谷の三河屋、下谷の鳥鍋、浅草のときわ、今半等が著名である。天ぶらは新橋の橋善、尾張町の天金、浅草の三定、中川、日本橋の三定等が旨い。甘いものは須田町の三芳野、銀座のぱんじゅう、木原店の梅園等が名物。

以上各種の料理店飲食店に就き一と通りを味つて見れば東京料理の眞價を窺ひたりと言はれます。又劇場は帝國劇場、歌舞伎座、新富座、明治座、市村座、本郷座、演伎座、神田劇場、中央劇場、

大國座、みくに座、常盤座、觀音劇場、公園劇場、宮戸座、吾妻座、有樂座等で、活動寫眞は、錦輝館、新聲館、福寶館、都館、三友館、電氣館、帝國館、キネマ俱樂部等。

寄席は若竹、金澤、入道館、琴平亭、川竹、鶴泉亭、惠智十、伊勢本、九段演藝館、宮松、東橋亭、福本、立花等。

旅館では芝區で吾妻屋本支店、日本橋は永田屋、大阪屋、城邊館、麴町は旭館、飯田館、松葉館、京橋は中央旅館、厚生館、朝日館、せき旅館、金明館、松木屋、本郷は長龍館、大津旅館、富士館、千歳館、神田は旭樓、龍名館、金城館本支店、昌平館、下谷は福仙、山城屋、惠比壽屋、埼玉屋、東京館、群玉舎、浅草は柳屋等尤も安全である。

滞京既に數月全部の遊覽を見盡しにら土産物で、呉服物は三越、白木屋、高島屋、伊勢丹、松屋、松坂屋、久保濱、久留米かすり屋、日本屋等確實で。貴金屬類なら天賞堂、服部、玉寶堂、玉屋袋物は兼康、白牡丹、書籍は博文館、東京堂、富山房、三省堂、育斐閣、東海堂、磯部書店等で。錦繪

は滑稽堂、筆墨紙扇子は榛原、王川堂、田澤文房具店。化粧品はクラブ、ライオン、パール、スミレ、食料品は龜屋、菊屋、青木堂、陶器は三銀、西浦。のりは山本、山形屋。菓子に風月堂、新杵、壺屋。帽子は丸善、大徳、北上、虎屋。洋傘は犬木、廉價堂、甲斐絹屋、仙女香。靴は鈴木、アオキ、谷澤。茶は山本、總節はイ等以上各店で名物を廉賣する、本書の評判記御一讀を乞ふ。

大 阪

俚諺に京の着倒れ、大阪の喰倒れとて、大阪の人は食道樂の人が多く、随分料理も中々おいしくておます、名ある料理店は北區、中の島大阪ホテル、銀水樓、森吉樓、靜觀樓、鮎字樓。東區、堺卵樓、産湯樓、備一亭。南區、明月樓、西照館。西區、岸松館等第一流で、見晴席としては吞春樓、朝妻、鶴の茶屋、東茶屋、鵜庵、婦夫池。鰻川魚は伊勢萬、富南貴、二熊、播半。即席料理は灘万、南吉、縁、入船、東、槌田、魚治、日柄喜。鶏肉は大豊、現長、島六、泉清、鳥菊。牛肉は改進黨、北竹、

新門亭、江戸安、源氏。精進料理は雲水、高津の湯豆腐、藤浪亭、すみくだ。天ぶらは梅月、魚喜。鮎は美の庄、金花。薯蕷汁は越伊。薄切焼は京與、丸萬。洋食は古川俱樂部、浪花亭、三好亭、自由亭、天五樓。支那料理は豐樂園。鮎は紅卵、吉野、小鯛の雀すし、奴すし。うどんは丸萬、井筒。生蕎麥は福住等が皆名高い。

花柳界は曾根崎新地、北の新地表裏、西は出入橋より東は蜷橋迄『その涙が蜷川に流れ』の蜷川に相連る、西區は新町橋より西口邊迄新町廓と云ふ、堀江、難波新地、相生町、阪町、松島等至る處に頗る多い。

芝居は道頓堀の角座、浪花、朝日、中、護天、北の福井座、八千代座、堀江座、天満座等で、義太夫は文樂座、寄席は此花館、紅梅亭、幾代亭、金澤席、瓢亭、永樂館、林家席尤も名あり。土産物は呉服では三越支店、大丸、高島屋支店、みの屋、曾根屋、東屋、栗屋、島安。襟は千切屋、襟徳、襟半、襟字。書籍は丸善、吉岡、松村、梅原、盛文館、鹿田、嵩山堂。文房具は團扇堂、

古梅園。化粧品は藤井のゐり髪、仁壽堂。泉勘。菓子に鶴屋、風月堂、駿河屋、高岡、大黒屋のおこし、三日月堂の牡丹餅。時計は石原、堀米等悉く名物店である。

大阪には旅宿に滞在するには尤も重寶な名物雇仲居が澤山あるから先づやとなを頼むが便利此上なしである、上品で高尙で如何なる用向きも便するので先づ此の女を雇つて遊ぶ巡や其の他の用向を命ずるが尤も宜しく殆んど痒ひ處へ手の届く程に親切丁寧にしやはります、そうてをます。

京 都

京都は着道樂の處であるが料理は安い割には中々旨い、土産咄しの一つであるから京美人と料理は是非に味つて御覽なさい、先づ圓山で佐阿彌、平の家、中村樓、鳥居本、樽尾、山を下りて萬花園、美の庄、美の吉、榎伊、藤屋、神田川、千もと、津四樓、共樂館、松村屋、川新、生龜、鮎鶴、瓢亭、華表、森樹、木徳、雪月庵、相模屋、八新、鳥羽清、萬龜等有名である。蝟藥師には狸汁、草鞋屋、

西洋料理は京都ホテル、中央俱樂部、發靜軒、あづま亭、雞肉屋は菊水、喜樂、やつこ、千鳥等第一流である。

芝居は西陣の岩神座、千本北座、千本座、島原座、南座等重なるもので。

遊廓は四條橋東に祇園新地甲部にあり、祇園町單に新地とも言ふ、毎年櫻花の頃、花見小路の歌舞練場に都踊りを催す、尙春秋二回に温習會あり何れも京都唯一の名物で、甲の部は祇園新地乙の部は膳所裏と呼ぶ、尙宮川町、先斗町、橋下、上七軒、何れも花の如き、京都美人が無數で、島原は西南に離れて一廓を爲し太夫道中尤も名物の一つである。

能樂、謠曲と若樂堂は、金剛能樂堂、片山能樂堂、京都能樂堂等である。

京都では名物美妓を聘し對酌しても一寸東京の様に手軽に寸法は六ヶ敷のである。仍而先づ手軽に遊ぶには旅宿が知人の紹介で茶屋(東京の待合)に行き妓を聘んで呑み、迎いが來たらすぐかへひして更に仲居に咄し太夫(東京の娼妓)を茶屋へ呼ぶのが一番早くて而も經濟である、始めに京に遊ぶ人の

御案内に著者無粋で、自分では知らぬが聞いた儘を御披露に及ぶ。

さて京の遊びと見物を済ましたら土産物で、呉服は高島屋本店、西陣、大丸、井上、丸佐、千總、千治、錢清。太物は太忠、平衿は榊儀、衿善。陶器は錦光山、澤光、近利、六兵衛。七寶は並河。袋物は種半、油は定光、紅は紅平、紅清。扇子は御影堂。賣扇庵。人形は九平、伊東。茶は一保堂、蓬萊堂。菓子には龜良則、五色豆は豆徳、八つ橋は八つ橋、千枚漬と鷺しらすは大藤。友仙染は井平、升太、モスリン友仙染は河内屋、諸色染は丸勘、寫眞は堀、成井、玄鹿館、旭館等にて土産の記念物を御遠慮なく澤山御買ひになつて咄しの種に爲さる様にしやりましたは、いかゞとす。

■三府及近郊の海水浴場案内

東京近郊海水浴は銚子町犬吠岬風景絶佳の好位地、旅館は大新、曉雞館、水明樓、浩養館、洗心樓等、名物は醬油、鹽から尤佳。銚子附近は一の宮、大東、大原、勝浦町等、旅館は勝浦館、幸善樓等。

房總内海岸勝山、鏡山、船形、那古、北條及館山、房總外海岸洲の崎附近より勝浦に至る太平洋に面せる海岸を指す、根本、白濱、岩船、以上海水浴の恰適地で内海岸は東京灣汽船會社の船が便、勝浦附近に至るは房總鐵道が便とす。

横濱より國府津間の海水浴場は本牧、鎌倉、由井ヶ濱、江の島名物貝細工、料理旅館は岩本樓、金龜樓、惠比壽館、讚岐屋、江戸屋等で、鶴沼、茅ヶ崎旅館は茅ヶ崎館、中村樓、海水館、萬松樓、松本樓等、逞子旅館は日越川に望める養神亭、日蔭の茶屋、柳屋等、葉山旅館に長者園、御用邸あり、大津左に本牧右に觀音崎風景絶佳旅館に勝男館、松崎旅館は松輪館、三崎旅館に青柳、紀の國屋、船木屋、内山、柳井等、大磯は海水浴の元祖、湘南の別天地、旅館は濤龍館、招仙閣、長生館、松林館、甲喜樓、山本樓、百足屋、石井、角半等。平塚はなきな家、旭亭、港屋等、以上到る處夏季海水の際繁昌は筆紙に盡し切れぬ。

大阪及京都海水浴

大阪近郊では境の濱寺公園、阪神電車沿道香爐園、灘、御影等尤も盛ん

である。京都は海水場なきも水泳場としては嵐山、五條河原、淀川筋等である。

■三府近郊の諸温泉案内

東京附近上州伊香保は榛名山の背後、眺望雄大旅館は聚遠館(木暮武太天、茶代廢止)挹翠樓(木暮喜和)木暮別館、其他數十軒ある、磯部温泉、浴舎は鳳來館、對岳館等、澤渡温泉浴舎は福田屋、關口屋等、四萬温泉浴舎は田村屋、關屋等、川原陽浴舎は萩原、草津温泉浴舎は望雲館、一井、日新館、大藤館等。箱根温泉は湯本、塔の澤、宮の下、堂ヶ島、底倉、本賀、蘆の湯、小湧谷、湯の花澤、婁子、強羅、仙石原等で、客舎は三河屋ホテル、福住、環翠樓、玉の湯、清涼館、新玉の湯、一の湯、葛屋、富士屋ホテル、奈良屋、梅屋、近江屋、大和屋、龜屋、仙石屋、松坂屋、紀の國屋等尤も名高し。熱海温泉旅舎には富士屋、相模屋、眞城社、氣象萬千樓、大光館、鈴木屋、阪口屋、露木、小松屋、尾張屋、古屋、高砂屋、山田屋等著はる。伊豆山温泉、温泉宿は江島屋、相模屋等。修善寺温泉

桂川の北岸にあり、料理店、旅館は養氣館、衛生館、淺羽樓、疑兩來館、菊屋等。伊東温泉は松原、湯川、岡、鎌田、新井、玖須見の六部落である。浴舎は榊屋、山田屋、旭屋、山本屋、寶來屋、暖香園、大阪屋、櫻屋等。其他の温泉船原温泉、嵯峨温泉、湯ヶ島温泉、西平温泉、吉奈温泉、古奈温泉到る處靈泉湧出豊富である。

大阪近郊の温泉

寶塚温泉箕面有馬電氣軌道會社經營のバラタイス館千人風呂あり、旅館は榮山、寶山、壽樓、立美屋、松涼庵、門樋、相生樓、分銅屋又名物寶塚少女劇團尤も著はる。有馬温泉は關西唯一の樂天地温泉寺、温泉神社、城山、鼓の瀧、生瀨温泉等が名所旅舎は兵衛、御所坊、池の坊、中の坊、二階坊、櫻の坊、下大坊、ねき屋、浦の屋、つぼ屋、外人客専門は清水、松本、増田等あり、此處には名物有馬節と云ふ俗語があり大湯女、小湯女と云ふが節廻し面白く謳ふ。其他布引鑛泉、湊山鑛泉等。京都は温泉の湧出する處なく、丸山鑛泉、河原町、明石湯鑛泉、郡部には有市炭酸泉がありて京阪共到る處浴客群集する別天地である。

■三府近郊の重なる避暑と避寒地

東京附近の避暑地としては軽井澤、伊香保、箱根、日光、房總の海岸、避寒地は伊豆の伊東、熱海、沼津、葉山等が尤も宜し。京都附近の避暑は嵐山、四條河原の涼み、近江の石山、疏水等で、避暑は宇治、膳々裏のあんか、祇園のこたつ、是れは失敬。大阪避暑の随一は箕面公園の瀧、濱寺公園、宇治川の夕涼み、避寒は寶塚温泉、有馬温泉、奈良附近、和歌の浦等が何れも恰適の地である。

■三府と名古屋美人の言葉

「東京」いらつてやい。「大阪」御客はんだす。「京都」をいでます、まへどを、きに。「東京」只今すぐ差上ります。「大阪」いつきにだすぞかいに。「京都」只今すぐもつてきます。「東京」駄目だわ。「大阪」コリヤやくたいぢや。「京都」けつたいなふと。「東京」ソナ事だろうとをもつた。「大阪」そんなコツチ

ヤあるだいな。「京都」そんな事どすいへ。「東京」私しが一つやりませう。「大阪」わし一つやるわいのを。「市都」わし一つやります。「東京」さようですか。「大阪」さをだつか。「京都」そをどすか。「東京」本當です。「大阪」ほんまに。「京都」同じ。「東京」御はいりなさい。「大阪」こちはいりなはれ。「京都」御はいりあす。「東京」よい店ですからあがつてちようだいな。「大阪」どうだすはいりなはれ。「京都」もし〜御あがりあすよろしうをすいへ。「東京」どうしませう。「大阪」どうだす。「京都」これどうしますへ。「東京」有がたう。「大阪」を、きに。「京都」へを、きに。「東京」駄目だわ。「大阪」いかんわ。「京都」あかんこつちや。「名古屋」だちやかん。「東京」御久ぶりでした。「大阪」ほんまにしさしぶりですは。「京都」御久しふ御座りますへ。「名古屋」やつとかめだつたなも。「東京」馬鹿〜しい。「大阪」あほうらしい。「京都」あほらしいぢやをまへんか。「東京」そんな事はいわないでちようだい。「大阪」そんな事はあかん〜。「京都」そないな事はあきまへん。「東京」だれ、わたいのをしりをつねつたのは。「大阪」だれじやわらしのをいでをつめつたわいなあ。「京都」わしのおいどをつめらは

つた。「東京」さようなら御きげんよろしう。「大阪」さいなら。「京都」さようなら。

天麩羅の横綱新橋の橋善 一口に天ぷらと言ふが、一から六まである、人の身體は病氣の入れ物と云ふが、病氣は油斷すると出来るのである、油斷とは油が斷と書くのである、故陸軍藥劑監石塚先生は人の身體は常に、鹽氣と油氣の絶いなき様にしろと云われた、身體を鹽と油で漬けて置く様にすれば決して病氣に罹る事は絶對にないのである、常に漬物と天ぷらの様に油と鹽の強い副食物を喰つて居れば人體はいつも健康天下泰平である、橋善の天ぷらは東京一處か三府無比である一度同店に就て天ぷらの眞味を試みて、遊覽者は吐しの種とからだの工合を見賜へと御すゝめする。

世に定評ある料理店富士見樓

麴町區飯田川岸の割烹店富士見樓先代故芹澤

半藏氏が現在の場所へ數十年前に開業されたのである、芹澤氏は静岡出の人で青年時代は軍人として西南役に從軍し功勞あつた人で凱旋して上京し幾多の困難を経て終に現在の所へ料理店を開業されたので、飽迄霸氣に富んだ人遂に全國料理組合を組織し其の機關として『理料新聞』を發刊し敏腕で明晰なる三宅孤軒氏が社長となつて之れが經營をなし芹澤氏は全國料理組合より推されて組長となる。其の同業者間に功勞頗る多く多大なる敬意を拂はれたのである。而して同樓に限り特に藝妓屋と待合とを兼營されて居るので、便利此上なしとて、大小宴會等は殆んど同樓に悉く依頼するのである、現在主人も更に確固不拔の精神あるので日本橋へは最近に支店を出し自動車部迄經營されて客の送迎等は無料で勉強するので、春夏秋冬千客萬來の大繁昌を極

めて居るのも決して遇然にあらざてはないか。

鮫洲名代の料理店川崎屋 京濱電車線鮫洲停留場前海岸に川崎屋割烹店がある、同店の開業は遠く三百年以前と云ふ素張らしい歴史を有する名代の老舗である。大小數十間の客室は麗掃遺憾なく、客室は品海に望んで袖ヶ浦の風光を一眸の裡に收め、閑雅清洒を極めたる四疊半の小座敷から大宴會に適する大廣間迄で何れも完全して居る、同店は、畏くも后大皇后陛下の御休憩所となり、故伊藤公、井上侯を始めとし大官富豪が殆んど同樓の名物あなご料理を味はざるものは無いのである。上述の如き名物店であるから四季を通じて客の絶間がないのである。

八幡名物武者料理 海岸停留場際に名高き八幡神社がある、この境内に名

物武者料理と云ふ一風變わつた、料理店がある、すべての器物は云ふに及ばず、料理の獻立までが武者式である、家の周囲の垣などは丸て昔しの陣屋の幕に因んで出来て随而料理も上品で高尚である一度試む可してである。

海岸松淺料理店 海岸停留場際海に建て出した大小の客間は何れも善美を盡した構造で、座敷に通つた計りでも己に生き延びる様な氣持がする。海水浴と料理が名高く主人は此の附近での名物男である。料理も安くて旨いのであるから行く可してである。

竹内醫院の好評 帝國大學近藤外科で多年研鑽されたる院長竹内笙五郎氏は下谷御徒士町電車乗換へ場附近で開院したが痔疾、肛門病、男女生殖器の諸病等が他の企及し得られぬ頗る氏獨特の手腕あるので、花柳界の患者非常

に多く開院日尙淺きにも拘はず日夜門前常に客の絶間なく大繁昌て青年有望醫師である事を推薦するのである。

東洋一の高等簞笥店鷺像 京橋區金六町の鷺塚高等簞笥店が堂々たる大店舗であるのを知らない者はあるまい、簞笥長持ち鏡臺等は人生一代缺く事の出来ない貴重な道具である事は云ふ迄もない、この道具は一日として吾人が無くてはならない、之の缺く可からざる道具が悪ひのであつたら之の位に不愉快な事はないのである、大切な娘を嫁にやるにも先づ衣類よりか入れ物を選ぶ可してである、衣類も素より必要ではあるが衣は寒暑を凌げれば足るのである、て孫子の代に傳へるには道具程宜敷物はない或る老婦人が自分の一人娘を嫁にやる時に斯く言ふた者があつた、衣類は澤山やつても簞笥の番人に

なるのであるからつまらないが、簞笥長持ちなどは何百年でも残るのである外見も立派に見られ毎日氣持がいゝから衣物よりか遙に憎しであると言ふた、簞笥長持ち等に御用の方は鷺塚で御調製なさいと御推薦するのである。

(111)

不老長生の福音東京紅療院 昔し奏の始皇帝は不老不死の薬を素め得られなくて、長大息をしたのであるが、茲に讀者に紹介する偉人がある、四谷區本村區停留場前に東京紅療院と云ふのがある院長は山下素邦氏と呼ぶ名物男の出る本場鹿兒島出身の人で數代前より紅療法と云ふ一種特別の療法を發見された、醫者にも薬にも見放されたる病氣が此の治療で全治したる者は無數である、心經中心療法であるから人體の根元を治するので確に氏が療法は入神である、文明が疾患を増加すと云ふが種々の病氣は慥に多くなつて居る醫

術素より可なりであるが醫術の力で治らぬ者は素邦先生の治療を受けて不老長生を望む可してある。

國家的の大事業コナミルク株式會社 國家の保護ある、國產の覇者と呼ばるゝ日本コナミルク株式會社は、資本金壹百萬圓で大正七年の春設立したが、社長は名物男の模範と云われた天下の糸平故田中平八氏が子分田中銀行の重役池上伸三郎氏で、名望と信用高き當代第一流の實業家で之れが専務取締役は敏腕で聲望高き關根親光氏常務取締役が確固不拔の西澤龜太郎氏で、其他重役は瀨川醫學博士川名正二郎氏を始めとして博士連計りても數十人組織した、廿世紀的新事業である。コナミルクは讀んで字の如くミルク即ち牛乳を粉末にしたのである、從來牛乳が世に歡迎されたるは維新以來であるにも

拘わらず其の需用の多き事は驚く可き長足の進歩をしたのである、牛乳が人體に效能あるは言ふ迄もないが、需用の多くなるに隨分不良の者を供給する處が近來頗る多くなつた様な傾向である、而るにコナミルクは、最新化學の進歩で出来る清淨な牛乳を吹霧状態として乾燥したので毫末もちゝの有効成分を損傷せず寧ろ牛乳コンデンス以上の有效なる殆んど大正の新名物理想的の好飲料である。牛乳も、ミルクも盛夏の候などには腐敗しやすく隨而甚だ危険である此のミルク計りは如何なる熱帶地でも絶対に腐敗の憂い等なく携帶には至便で如何なる、山間遊地でも自由に使用する事が出来るのである故に開業日尙淺きにも拘わらず、全國各地よりの注文頗る多いので大工場で製造するのが間に合はない程である、又同會社では、副業としてバター、コンテ

ンス、カザリン等の製造販賣を經營せるが何れも旭日昇天の勢で發展されつゝあり本社は仲橋廣小路電車停留場前で四階建堂々たるものである。

■ 最新奇拔廿世紀的大新案

歐米にも響いた木下の電球

長坂の更科蕎麥を以て古い名物とする麻布は、更らに鳥居坂の木下電氣工場を以て新らしい名物に數へることになつた。夫れは更科蕎麥が他に類のないと同じく木下電氣工場の電球が他に類のない、最も最新奇拔な意匠を盡した發明品だからである。

この電球の特長は變形の猫でも鼠でも鳥でも魚でも世界各國の國旗でもタングステン其他どんな形状のものでも自由自在に製出して、其上神佛棚の常燈明、店頭裝飾、庭園の彩燈として思ひの儘に誰れでも取付けが出来、

更に危険がないといふ新案、廿世紀的に氣の利いた趣向は、燦然たる光輝と相俟つて、迎も球燈や花瓦斯などの比ではない。而も其堅固なる製造法は一度買つて置けば殆んど命知らずの永持ち、夫れて價格は僅かに一個十錢からといふ破格の大廉價。内地は申すに及ばず、歐米諸國からの註文殺到して、數十人の職工晝夜兼行に働らいても手が廻らぬ、大繁昌は、實見記者の舌を卷いた所である。雷に麻布といはず、最も新しき東京名物中の名物として推薦するに憚らない。

■チャリ合名會社の聲價

世界の進化に隨て凡ての飲食物迄が追々と高尚になるのである。米食本位であつた日本でも鎖國時代にはパンだのミルクだのと云ふ者は少しも知らな

かつたのだが、維新の革命以來の進歩は丸て飲食物が變つて來た、歐米先進國が富強であるのは第一に食物が完全に各國の飲食物が充實して居るからである、本邦人の習慣で粗食に甘んじて居るものが今でも地方などには餘程多いが、競争の烈しい三府などに住居して日夜頭を使ふ者には粗食に甘んじて居ては迎も健康を保つ事は不可能である。チャリ社は元と瑞典人チャリヘースと云ふ人が日本に渡來して始めてパンの製造を開始されたのである、爾來同氏が逝いて後を合名組織とされ。而も品質本位で食パンの製造を専らとして居るが、其品質の優良なるは一度喰つたら忘れられない風味である。ホテル精養軒や官衙學校病院陸海軍の御用を始め殆んど同社のパンのない處は殆んどない。洋食通は云ふに及ばず、如何なる下級の勞働者でも盛んに歡迎し

て居るのである。又同社ではシヤンペンサイダの製造もして居るチャリサイダーは頗る品質佳良の聞え高く各種ある中でも一頭地を抜いて居る先年東京毎日新聞飲料水の全國大投票の際にも名譽最高で當選されたのである、パンとサイダの御用の御方はチャリ社築地南小田原町電話京橋一四二三番へ御注文なされる様にと御推薦を憚らない。



東京見物に忘れてならぬ天賞堂

の繁昌廉くて堅い流行の時計美術品

天賞堂の三字は、直ぐに時計貴金屬美術品を聯想させる東京名所の大商店何萬圓の大注文から何十錢の小買物に至る迄、苟も堅實と廉價と信用の三點

を忘れないで常に流行界の先頭に立つ營業振りの鮮やかさは、迎も他に其比を覓めて得られぬ。京橋尾張町で電車を降りれば直ぐ眼と鼻の間、買ふ人は無論、買はない人も一度は行つて縦覽せらるゝがよい。千種萬種の眼に眩い貴金屬美術品、時計、指環の陳列は、迎も鳥渡した博覽會どころのものではない。金剛石の光り、紅寶石の輝き金銀の間を彩つて、玻璃は店頭一面に張詰め、物質的に現世からの極樂世界、夫れでお賽錢一文入らずの平等に愛嬌たつぷりの取扱ひ、流石賣れる店は違つたものと誰れしも感心して愉快に息の吐けぬは同店の特色である。日本橋通一丁目、横濱市常盤町五丁目、大阪市心齋橋北詰と三箇所の支店、孰れも本店振りの營業に繁昌を競ふてゐる。



海外にも響いた流行界の權威

京橋竹川町資生堂の化粧品

最新藥品の大問屋として京橋出雲町資生堂の名は最も權威あるものである如く、同じ竹川町に於ける化粧品の大問屋として資生堂の名は、流行界に粹を競ふ貴婦人紳士の誇りとなつてゐる。特製香水ウイステリヤ同上ホワゲツト、ミール、ナツトを始め、凡一百種に近い香水、香油、化粧品は常に内地ばかりでなく、歐米の流行界にも噴々の聲價を博してゐる。同店は斷じて誇大の廣告をしないが、製品の内容に於て他の何ものにも優れてゐる實質の光輝は燦然として同業者間に異彩を放ち、苟も大正式の紳士貴婦人にして、資生

堂の化粧品を使用しないものは、流行を談ずるの資格がないと迄に賞讃されてゐる。電話は新橋二五七二番。申込みば市内は直ぐに届ける。灰汁抜けた商業の化粧振りに眞に歐米式の粹を發揮せんとせらるゝ方は、兎に角一度は同店に就て化粧品の選擇をする必要がある。



東京郊外唯一無二の樂天地

京成電車押上起點で船橋行に乗れば僅か十五分間位いで市川停留場に着く。この停留場が名高い江戸川の畔である下車して川端を凡そ二丁許り行けば市川町有名な倉庫合資會社がある此の倉庫會社は信州諏訪製絲家て名高い林繼九郎氏も出資社員であるとの事で、代表社員は此の町有力者石川米次郎氏である、石川氏は温厚篤實の老紳士で此の倉庫會社のある庭園が河岸であるので昨大正六年夏季には本所區教育會の需に應じて庭園『山水園』を開放し

休憩所とせられたのである、庭園は極めて閑雅無二の樂天地であり又園内には何ヶ處も建物があつて幽邃なるは殆んど無比である餘興場の設備もあれば四疊半の小座敷もありて石川氏は需めに應じ間貸しもして居るのである、又庭前河畔から舟を借りる事が出来る舟に棹して江戸川を僅か七八丁上ればすぐと名高い里見公園である、同公園は面積一萬八千餘坪の高臺で老松其他無數の名木があり八犬傳で名高い里見氏代々の墓もある、此の公園に上つて四方を望めば殆んど關八州が一目に見られるの盛觀で思はず歸るのを忘れる様である其他總靈寺、眞間山、手兒奈祠、鴻の臺兵營等を見物して歸京すれば一日の郊外清遊には絶好であることを保證する。山水園では料理も自由に電話で呼べるから重寶に出來て居る。



市川名代の松桃園の會席料理

桃と松とが唯一に名高い市川桃林中で市川新田京成電車停留場の眞ん前である、松桃園の先代は食道樂で有名な村井弦齋居士の親しく交はつた、某氏が設立したのであつたが今は交代りとなつたのである、この料理店は名に背かぬ松桃園の中に而も風雅無類に建築してあるので座敷に通つた計りでも氣持ちが善く殆んど別天地に遊ぶ様な氣持になる、風呂場などの設備も遺憾なく出來て居る隨て料理も鳥でも魚でも川魚野菜でも悉く附近で取つた計りのを喰わせるので其の氣持の宜い事は殆んど天下一品と云つても過賞ではない又女將も愛嬌頗る佳く隨て女中も美人揃へて世辭者だからいつも御客の絶い間がない便利此上なしの處で旨い料理であるから一度同園の料理を味はつては如何ですと御披露書の通り。



簿記界の大革命

簿記が國家に一日も缺く可らざる必要なる事は今更言ふ迄もないが、從來の簿記法では一寸素人目に了解し得られない缺點が多々あるので、往々會社銀行等で重役が盲ら判をした爲めに大失態となり甚だしきは之れが爲めに破綻を蒙る様の事が度々あるので多年之れ等の缺陷を補はんが爲め様々の考案を成し研究に研究をされて始めて完全無缺而も素人でも一目瞭然に收入支出が了解し得らるゝと云ふ純日本式簿記法を發明して業に既に各商店會社の實業方面へは従前より廣く實施し來りたるものであるが最近某府教育會の會計整理にも之を試みられた神田區美土代町二丁目一番地に在る大原簿記學校々々長大原信久氏である。同氏の發明されたる新式簿記法は從來會計事務に用ゐられつゝある借方貸方簿記法は其理解の困難なると其説明の容易ならざりし様な面倒なく、總ての財産の増加減少變化事項に對し收入支拂の用語を以て

其の結果を一目瞭然たらしむると云ふ極めて簡易學び易き方法である、取引は區分して現金取引振替取引の三項になすなど現金取引は直接現金受授あるもので振替取引は直接現金の受授を省略したる取引にて例へば商品を掛賣したる時の如し此の場合は現金授受ありたる者として收支を區別するにあり準振替取引とは機械の値だんの如く振替取引に準じたる取引を總稱する吾人は困難なる貸方借方を廢し一日も結果に於て借方及貸方と同一なる大原校長新案の收支新式簿記法を讀者諸子に推薦するのである。



女醫の花形佐藤治子女史桃雲堂醫院

東京市中に醫院の數は無數あるが、女醫として開業し獨立して居る所はまだ澤山はない。淺草區田島町六十四番地桃雲堂醫院々々主佐藤治子女史は最近年若にも拘はらず獨立開院したが、日尙淺きにも拘はらず、非常な繁昌を極

内科婦人科小兒科

桃雲堂醫院

主 醫 佐 藤 治 子

淺草區田島町六十四番地

(127)

めて居る、同女史は日本醫學專門を出て、から廣田醫學博士の經營せらるゝ育兒會病院に助手として居られしが、父君は新派俳優の元老佐藤歳三氏で近年常盤座專屬として出勤され居りて常盤座出入の一般家族は云ふ迄もなく淺草附近に誠に女醫の少ない處から博士が非常に女史を希望せらるゝのを斷然暇を取つて開業されたのである、同女史は浪界の霸王と呼ばれた故桃中軒雲右衛門とは淺からぬ縁があつていつも先生が病氣の時の注射は必ず女史が治療で治したとの事で斯かる因縁から其病院も桃中軒に因んで桃雲堂と名命されたとの事であるが、内科、婦人科、小兒科を主として極めて患者に對し親切丁寧に治療するので開院日遠からざるも遠近より治療を乞ふ者日増に増加するとの事で前途頗る有望な良醫である事を著者は推賞するのである。



新派俳優の霸王佐藤歳三氏

役者と云つても一から六迄あるが、新派俳優の元老たる佐藤歳三氏は十把一束の役者とは毛色を異にして同一に談ず可き人ではない。同氏は鳥取縣の士族で、故東京市長名物男であつた奥田義人氏と同縣人だが佐藤歳三氏の名を知られたのは寧ろ青年時代に知られたのである。氏が男子立志出郷間云々と口吟して單身郷里を出てたのは十八九歳の時であつた、神戸に征討俱樂部

(129)

組織し政治上に奔走する傍ら青年に劍道を教へ京阪神の青年の重鎮として名が知られ憲法發布議會開設に獻身的努力したり而して議會開設の曉松方内閣干渉烈敷何しろ初期議會前の事で各政黨の競争は殆んど其極度に達して居る時代なので、氏は郷里を出て、京阪、阪神間を濶歩し自ら考ふる處あつて舊自由黨に投じたのである其頃松方内閣時代であつて神戸市で板垣伯が政談演説を成せし時政府の干渉は殆んど極度に達して板垣伯の演説を妨害し暴力と威嚇とて飽迄も反對されたのであつた其上伯の民黨遊説の根柢をたゝんと企て兇漢三千人餘も神戸市名代の俠客親分熊野宇三なる者が主唱者となりて伯を歸途に待ち受け一時に包圍して殺さんとしたる時、恰も其際佐藤氏は僅か部下數人で板垣伯を救ひ大聲叱咤我に手を下す者は日本刀の切れ味を知れ伯

に危害を下す者は一人も活しては返さぬと絶叫したのである。元來が他數をたのむ鳥合の暴漢故に同氏の勢ひに閉口して皆逃出したので伯が無事に危難を免れたとの事で其の後さすがの熊野宇三も佐藤氏の剛膽に一驚を爲したと人に語つたとの事であるがそれは僅か氏が廿二歳の時であつた夫れより氏の盛名は阪神間に愈々高く又板垣伯も氏の勞を頗る多としたとの事である。其後國民教育の精神を以て俳優となり。角藤定憲川上音二郎と共に斯界三頭目と稱せられし國民教育を趣旨とする目的を以て、終始一貫舞臺に起ち故高田實藤澤淺次郎等と、極力劇の改善を企圖し長く本郷座出勤を爲し先年東京毎日新聞全國俳優投票等にも大多數で當選名譽の月桂冠を得られた、其後全國有數の都市を巡業し更に最近では常盤座專屬として水野好美氏と共に桃中軒武

士道鼓吹に同情して兄弟の如く根岸興行部の小泉氏報恩の義として常盤座へ出勤し日々大入滿員をつゞけて居るが氏の演藝は特に覇氣があるので所謂前述の如く死生の間を青年時代に實地に踏査してから演ずるのであるから抑も他の企及し得られざる妙味がある前の松本軍醫總監は非常に氏の藝を好み自筆の幕迄も寄贈されたのである又同氏が長女治子女史は桃雲堂醫院を開院して居るが非常に繁昌を極め居るのである。常盤座は一年百萬人以上の見物あり此の國民の慰安に教訓を與へて居る偉大なる哉。



三府無比の兼康小間物店

東京名物中の横綱兼康小間物の店起源は今を距る事四百有餘年前、即ち慶長以前の創業である本郷の草分け處が殆んど東京否昔しの大江戸時代の草分


け名物店と云つても過賞ではあるまい。

『本郷もかねやすまでは江戸の内』

と天明年間の狂句に迄て謳はれた名代の店で三つ子でも小間物を口にする者は同店を知らないものはあるまい上述の様な名家であるから祖先以來廣幡家へ代々世襲の度毎に必ず伺候する等の關係あら、戊辰の歳、畏くも明治天皇御東幸に際し當時の廣幡内大臣閣下は同家へ御枉駕の榮を賜りたる程の偉大なる門閥家である。

當主兼康祐悦氏は同家九代目の主人で温厚篤實なる好紳士である。同家では代々乳香散と稱する齒磨と齒楊枝とを業として徳川將軍家を始め諸大名旗本の御用を始め今に乳香散の賣行きは盛んであるが、當主は時代の要求に隨

ひ斷然小間物商に改業し束髮裝飾品の他に率先して製造發賣せる結果遂に今日の隆盛を見るに至り、束髮用裝飾及び精製晒椿芳香美髮油の元祖と唱へられ滿天下無比の盛名を博して居る。同店の商品は常に流行の魁で品質の純良なると型の斬新極粹なることは云ふ迄もない兼康の製品と云ば正名保證付てあつて絶対に掛引厘毛もなへ確實安全であることを著者は證明するを憚らぬ。

 福祿堂の繁昌

火の早いのと喧嘩の早いのが名物である東京の真中で而も須田町と小川町の電車停留場の中央雉子町の名物男福田辯護士の事務所の隣りて、官營煙草と繪葉書書籍雜誌子供の教育本や寫真コロタイプ銅版、石版活版諸印刷寫真引

伸油繪水彩肖像揮毫學校用圖書發行等種々の物を卸小賣販賣して居る店だが
神田は言ふ迄もなく東京市中でも學生の多いのは此の區程澤山居る處はない
が其の多い學生に對して必要の品を供給する店も随分多いが、此の店の様に
著者が見た處で繁昌する店は迎も他にはないから主人に營業振りを聞いて見
ると尤も愛嬌よき主人平尾氏は語る、凡て商賣は客本位でしなければいかな
い、自分の處では第一に仕入を注意するが可成良品を勉めて廉價に賣のてい
ると言われて居る、成程宜い品を他よりも幾分か安く賣れば繁昌しなければ
ならないはずだ、繪葉書でも書籍雜誌でも何人に限らず非常に安いから一度
行つて買つて同店が如何に勉強であるかを御覽になつては如何であると御す
ゝめする確かに神田の名物店である振替東京二九五九〇番で上述の様な勉強

店であるにも拘わらず主人は自分で大不勉強店だと云つて居るのは面白いて
はないが。



花に嵐の妙齡美人自衛器大賣行

強盜暴漢自在に挫ける發明界の奇蹟

嶄新奇抜の意匠に發明界を驚倒したものは本郷區湯島六丁目十六番地日本
發明品製作所の製造販賣に係る『人身自由防衛機』である。敷島形輕量美麗
の極小金屬容器に納めた神秘の器械は、どんな強盜でも暴漢でも、即座に取
つて押へてギウともいはずぬ大威力の、而も夫れが婦人小兒にも自由に使へ
て其上使用者に更に危険がないのだから驚くの外はない。器械の装置は微妙

なる電氣の應用で、素破敵御參んなれと、觸れては直ぐに百人力ある強敵でもビリ／＼と痺れて感覺を失ふ。夫れて巻煙草を携帯すると同じの便利品。家庭に備へ、旅行に用ゐる、護身用として短刀短銃に優る事數倍。分けて危険の多い妙齡婦人の外出等には唯一無二の防衛具でどんな色魔の現はれて不意の襲撃の毒手を逞ふしても、是れさへあれば突嗟に取控いて危難を逃れることが出来る。眞に最近發明界の奇蹟。何人も一個を購ふて眞價を知る可きである。

■知らず／＼物持ちになる便法

「みやこ合資會社の月賦販賣」

ホンの端々錢で一ツ加入すれば、直ぐに十五圓からの衣服でも品物でも自由を買へる。重寶便利無類のみやこ合資會社。本店は下谷區茅町二の卅三番地で電話は下谷の一三五五番と五六〇三番。宇都宮馬場町と信州上田原と常陸土浦外西町とに支店があつて、東京市内の加入者が已に三萬餘人とは驚く可き盛況ではないか。第一基礎が堅い。第二品物が安い。第三チビ／＼なし崩しの端錢で纏まつた入用品が即座に間に合ふ。知らなければ格別、知つて之れに加入しないのは其人の手落ちである。市内各區に渡つて同社四十餘軒の代理店は、さア何んでも御入用の物をお持ちなさいと待つてゐる。月賦販賣の元祖。他に類と眞似手のない所が同社特色の勉強に迎も競争の出来ない所である。欲しいものがあつたら遠慮に及ばず直ぐに申込むて、成程と便利

を味はるゝがい。

■早くて美味くて廉價無類の

三拍子揃った芝口の今朝牛鳥店

當世流行牛鳥店の中でも、第一流に推す可きものは何程もない。其第一流の中で、店も古い。肉も美味い。夫れて價ひが廉くて座敷が綺麗で、萬事の取扱ひが行届いてる家といつたら先づ指を芝口の今朝に届す可しであらう。牛でも鳥でも、同店に使用する肉は、店主自身に一切生産地から極上物を取寄せて買入れ、決して他人任せにせぬといふ昔からの主義一貫。だから何時行つても同店の肉に限つて當り外れはない。夫れて入浴は春夏秋冬隨意で、

女中は叮嚀で氣が利き、登樓つてポン／＼と手を二つ叩くか叩かないにへいお誂ひと注文の品が列ぶ。早いも早いも能くア、出来るものだと思ふくらゐである。

時間を節約して美味しいものを廉く食へるといふ三拍子揃つた流行店、正に新東京の名物店たるに耻ぢない。おまけに位置は新橋停留場の直ぐ前へ、東西南北交通自在で何所へ行くにも便利は無類。東京見物の序には土産話に一度は是非登樓る可きである。

■三府無比の湖月樓

大小數十の客間は泉石底樹の間に點綴して、幽雅、静閑、寔に是れ三府近郊唯一の割烹店は鳥森の湖月である。若し夫れ興來つて酒肴を命ずれば、芳

醇盃に満ち山海の鮮、盤裡に躍る、侍する阿嬌は悉く美人。巧笑聘として殆んど別天地に遊ぶの感である。夜雨窓前私語によく、落花欄外歌舞更に奇妙酔後更に香湯に浴して榻に凭り、半醒半酔の仙と化するに至つては一刻稍、千金の價、春宵を待たずして隨時に得べく、眞に一夕の鎖金窩である。況んや地は至便新橋、土橋の中間で美妓は糸竹を擁して羅裙を曳き、雅客の召命を待ちつゝあるに於てをや。苟も三府遊覽の士にて一度湖月を訪問せざれば決して料理を談ずるの資格がない、大通行く可く、大俗も行く可く、君子も又遊ぶ可しと著者は斷言を憚からぬ。電話新橋特長四九三番 同四九四番

■株式會社 米山サイダーの發展

世界の進化に隨而凡ての飲食物も追々と高尚になるのである、古來から酒

は百藥の長と迄て歌われて居たが、過ぎると反つて百毒の長となるのである酒もビールも少しは宜しいが身體の健全を保せんとするには餘りに呑んではならぬ茲に紹介するサイダーは各種ある中でも隨一と呼ばれて居る九段下米山株式會社製造發賣する米山サイダーは品質無比の稱である、一度此のサイダーを試みる人は決して忘れることの出来ない風味を有つて居る、上述の様に酒ビールも決して害にのみなる者でもあるまいが、俗に言ふ狂ひ水であるから吾人が理想的の好飲料はサイダーの他に素め得るものは見出されない、であるからサイダーの需用は日に月に隆盛に達するのであるから上戸でも下戸でも米山サイダーを召し上れと御推選する。

■新町郊外理想的住宅地

玉川電車浴道新町停留場前兩側鬱然として繁茂する櫻樹數百千花時は丸て花の隧道を行くが如き道路數丁行けば是れが則ち有名なる東京信託株式會社經營に係る新町郊外邸宅地である。新町は武藏野曠野の一部土地高燥空氣極めて佳く、下には玉川の清流を控い、遠く富岳の優秀甲駿相武の連山を眺められ、氣候極めて適順夏涼しく冬暖かく誠に理想的の住宅地である。市内の煤煙、喧噪せる熱鬧の中に住居する人は逆も天然の壽命を保つことは不可能である。さすがに東京信託株式會社は此の天然の勝地をトして郊外生活の新提供を成したる爲めに發表すると間もなく駒澤玉川兩村に跨る宅地七萬餘坪は軍人官公吏會社銀行員學生實業家等よりの申込みで數百軒立派なる住宅が出来たのである。仍て更に最近に第二計畫として此の附近に數萬坪の新宅

(143)

地を提供したのである、宅地は元より上述の様な別天地に充分地所を取りたるのであるから邸内で野菜等は自由に出来る又交通の便は頗る良い中澁谷市電終點より玉川電車に乗れば僅か二十分間で樂に行けるのである、殊に東京に通勤する人の爲めには玉川電車會社も破天荒の乗車賃金の割引もある。又同新宅地では餘り生活程度の下な労働者の居る様な棟割長屋は町の美觀を害するので作らないから自然と高尚である故に子弟の育兒等には極めて風儀がよく、善良であるとの説である。都會の俗塵を厭ふの士は乞ふ速に閑靜幽雅なる同地に一日も早く住居して天然の惠澤を享けられんことを記者は推奨するのである。

■伊賀屋布團店の特色

店は數年來の老舗である。品物廉賣を以て著名な蒲團店は京橋松屋町と北島町電車停留場の中程西側の伊賀屋號藤井蒲團店であらう。同店の特色とする所は第一蒲團の中綿が永久に堪へる手打綿の外は一切使はず第二には一切下職へ出さず、綿も自店特製のもので拵らへ重量から裁縫等悉く店主が親しく監督の許に製造する。又銘仙、紬、木綿に至る迄は表地裏地綿類とも吟味を加へて、確實な清合物でなければ使はない。従つて一度同店の賣品を手にした家庭では、富豪、華族は勿論どんな向てもそれからそれへと聞き傳へて注文をどしどし寄せ、同店は常に隆盛を重ねてゐる。藤井の蒲團を一度買ふたら二度買はずには置けぬとの評判

御用のお方は電話ならば京橋の三一六五番です。

■美術銅店と盤若支店

東京で大門通りと云ひば金物一切取揃はぬものはなく、其の大門通りを稍北へ進み甚兵衛橋を渡つた所神田區材木町十八番地盤若銅器店の屋上に仁王の目標が在る。之は我國で有名な奈良東大寺の雲慶、湛慶作を模寫したものだと云ふ。盤若銅器店は常に東京に於けるを大家名工の作品を始め高岡市及全國特産銅器、床置、香爐、花瓶、火鉢、噴水等凡て室内庭園裝飾用金物並びに神社佛閣、奉納物、在家用神社小金物等を東京及び各製産地より優良珍品を精選蒐集し廉價に販賣してゐる、因に同店の電話番號は神田七一四番である。

■歌橋ピツクの聲價

皮膚病の有効新劑歌橋ピツクは醫學博士土肥慶藏先生が教授せらるゝ帝大皮膚科の處方を嚴守し、日本橋區本町壹丁目九歌橋輔仁堂藥店で多年の經驗に依つて製造したもので常に極めて適當の稠度を有し他に其の比を見ない事は著名な事實である。而も其の製造に多大の熟練を要する事は山田博士の言に徴して明白である、即ちピツク硬膏は一〇%だけのサルチル酸でも非常に熟練を要するから硬膏の基礎として使用さるゝ單鉛硬膏、ラノリン、其他脂肪石鹼類は少量のサルチル酸にても直ちに分解し其本性を夫々糜粥狀に變じ又ゴム質に加ふれば硬化するのみならず一の團塊狀の脆きものとなる云々と、而して歌橋ピツクは四季共に極暑

たる南洋に於ても其稠度適當で盛んに賞用されてゐるのである。(電話本局二五九四番)

■たかしまや飯田吳服店

春は花、秋は紅葉、色とり／＼な花にも劣らぬ華の衣裳を調へるのならば先づ京橋南傳馬町たかしまや飯田吳服店を訪はれるのが便利である。たかしまやは常に季節と流行に先ち新柄特製品をはじめ見切反物寄せぎれ類いろ／＼取揃へ賣出を行ひ、婦人方の模倣には最も重寶て評判を博してゐる。殊に同店は春秋の二回に流行有選會を開催し、豫め課題を與へて研究し製織又は染上げたもので時代の趣味に相應しく、過去の傾向將來の大勢を含んだ云はゞ新流行の魁と云ふ嶄新の品物を賣出すのであ

るから、必ず當時の流行界に異彩を放つ事は云ふまでもない、其外節句の人形、工藝品等たかしまやの賣品は京都中心の精巧無類の珍品揃へて世間に定評がある。

■絶好の遊覽地京成電車

春は市川の桃、江戸川堤の櫻、四ツ木の牡丹に、夏は東華園の納涼、秋は又眞間山の紅葉、冬は鴻の臺の雪景と四季を通じて飽かぬ眺めの美景を綴り合せた我が京成電車は江東押上から一路船橋迄、宛ら繪巻物の中を行くが、如く郊外散策には絶好の名所舊跡が隨所に在つて、眞に關東一の遊覽電車である。其他中山の法華經寺、柴又の帝釋天、船橋大神宮、金町の半田稻荷等探るべき名蹟枚擧に違がない程で、都人一日の行

樂には是非共京成電車沿線を選ばねばならぬ。京成電車は最新式の車臺數十臺を運轉し輕快で乗心地が好い事は有名であるが、常に朝五時から夜十二時迄連續運轉し乗客にも非常に便利である。尙ほ各往復券、回遊乗車券、定期乗車券、團體割引等の設けがある。

■靴の註文は先鬼笑堂

靴を註文するならば先づ宮内省御用達として有名な東京市麻布區永坂町十二番地鬼笑堂製靴を選ぶ事をお奨めしたい。鬼笑堂の製靴は多年の經驗材料の選擇を充分注意し獨特優秀なる技術を施し實用と耐久を專一とすれば華客に廣く賞讃を博してゐる所で、宮内省の外に朝鮮總督府清國上海東亞同文書院の用命を蒙り購買組合共同會の特約店として營業

者間にも非常な信用を荷つてゐる。尙同店に注文するには、豫め「注文の棊」の送附を受け、懇切に示した寸法の取方に依り注文を發する時には短時日の間に極めて迅速に調製して華客の手許へ届ける事になつてゐる。特に價格は低廉を旨とし、良品を多賣する方針で營業を重ね今日の繁榮を見つゝある次第である。

■純日本式自動車タイヤ

堅牢無比、體裁優美、眞に理想的なる純日本式の自動車タイヤが生れた。それは東京淺草區玉姬町に在る日本護謨株式會社の製造に係る最新優良なる發明品である。元來自動車のタイヤは英米兩様の式に限られてゐたが、曩に日本護謨が本品を創製發賣するや、實質の純良なる點

に於て忽ち名聲を博し世界的革命として斯界の注目を受くるに至つた。即ち英國式は體裁が甚だ整はぬ上に尙且トレッド面に瘤を生ずる處があり、又米國式は布層壓搾が甚だ不充分で疾走中往々パンクする憂があり、何れも理想的と云ふ事は出来なかつた。然るに日本護謨の純日本式自動車タイヤは布色の壓搾が充分で密着完全である故にトレッド面に瘤を生ずるが如き虞毫末もなく、最も耐久力に富んでゐる事は、需要者の廣く賞揚する所である。本品證明者は現に同社取締役兼技師長で名聲錯々たる吉田靜吉氏で、爾來苦心研究の結果愈々同品の完成を俟ず過般專賣特許を得たのである。尙ほ同社販賣部は日本橋區小傳馬町二丁目にあり、宮内省御用、陸軍自動車班指定として莫大の信用を博してゐる。

因ちなみに本社ほんしやの電話は下谷六〇八番販賣部はんばいぶは神田二五九〇番である。

■牛乳は東京一の強國舎

滋養じやうが専一せんいつの牛乳を召上めしあがるならば先づ東京第一の稱しょうがある日本橋區西川岸強國舎田村牛乳店の搾取牛乳を用ゐるのが宜しい。同店では嘗て大正博覽會に出陳しゆつらんして好評を博した牛乳汚物回轉分離器そぶつくわいてんぶんりきを使用してゐるが一度牛乳が此の器を通過する時は如何なる粉末塵芥ふんまつちんかいと雖も除去せられざるはなく、極めて清淨な牛乳を販賣し得るのは強國舎の特に誇りとする所である。現に右の器械を使用するのは全國に三ヶ所とうきやうで東京に於ては唯一である。尙ほ同店は大塚に第一牧場、碑文谷に第二牧場を有し市内は勿論千住、向島、龜井戸、洲崎、月島、王子、新宿、目黒、大森、品川

等一市五郡を配達區域とし朝夕二回配達してゐるが、特に同店の牛乳が濃厚美味で滋養成分に富んでゐる事は需要者が等しく賞揚する處である
(電話本局二九九六)

■美術貴金屬老舖玉寶堂の名譽

時計並びに美術品貴金屬商として顯著な東京下谷區池之端仲町玉寶堂は安永七年の創業に係る東京屈指の老舖で、爾來纏綿として隆昌を極め多大の信用を博してゐるのである。同店の特色は實用品、裝飾品ともに品質の精良を選び、製作は専門家の意匠彫刻に囑し、我國交際社會は勿論歐米各國流行の粹を選び、且同堂多年の信用を荷つて顧客の需要に應じつゝある。而して同堂では近來更に歐米の新文明に則り嶄新なる意匠

を考察し益々製品の改良を計つてゐるが、特に日本赤十字社愛國婦人會帝國義勇艦隊大日本武德會、其他公私團體から諸種紀念品製作の用命を荷つてゐる事は同堂の誇りとする所て又以て同堂が各方面に絶大なる信用を博してゐる證據と云ふべきである。(電下谷九六五番)

市原製作所と唧筒

市原唧筒で有名な日本橋區蠣殻町三丁目市原唧筒諸機械製作所は明治七年の創業で、唧筒製作に従事すること四十餘年實に本邦斯業の嚆矢である。市原式各種の唧筒は何れも專賣特許權を有し實用を專一とし外國品に比し優良である事は斯界に好評を博してゐる所以であるが、嘗て明治十年及び第二、第五内國勸業博覽會、東京勸業博覽會、獨逸國萬國

博覽會で賞牌を授與された外共進會其他で屢々賞牌賞狀を授與されたもの枚舉に遑がない程である。製作所に於ては常に優秀なる技術員をして製作に従事せしめてゐるので製品の精巧、堅牢、永遠不易である事は今更蛇足を加ふる必要ないが、其後販路を擴張し右方面の信用と愛顧を蒙ると共に業務を擴張し一層迅速確實に其の供給に應じてゐる。(電話浪花二六番) 場主市原求氏は頗る公共事業に盡瘁されて居る。

資本金 四千萬圓
積立金 六百萬圓



株式會社 十五銀行
東京市京橋區木挽町
同日本橋區新乗物町

同日本橋區永樂町一丁目一番地
同日本橋區上ビルディング東南角
丸之内支店

定期預金 六ヶ月以上 年五分
當座預金 日歩 六厘
特別當座預金 日歩 壹錢壹厘

其他一般銀行業務迅速丁寧に御取扱可致候間御便宜御來談被下度候



東京市日本橋區小舟町

株式會社 安田銀行

日本橋區繪物町 合資會社 川崎銀行

同 日本區富澤町 富澤支店

同 京橋區南八丁堀 櫻橋際 京橋支店

同 神田區松住町 神田支店

同 本所區相生町 本所支店

地方支店 横濱、八王子、佐原、京都、千葉、佐倉、大阪、銚子、松戸、神戶、石岡、水戸、船橋

日本一の
養鶏雑誌

家禽界

毎月一日発行
一部税共廿三錢

養鶏をやつて居る人、やろうとする人は第一に本誌を御讀みなさい。見本一部十五錢

東京神田仲猿樂町一九

曉聲社
振替東京一四七九〇番

産婦人科
小兒科

女醫

吉岡彌生

院長診察 宅診午前 往診午後
議員診察 午後

産室及病室の設あり隨時入院の需めに應ず

東京市麴區町飯田町卅一番地

東京至誠病院 電話番町二二七五

京濱線出村停留場前

東京府荏原郡六郷村字出村

伴田養鶏場

電話 蒲田(二五番)

場主 伴田二郎

黒色オーピングトン。同ファイアンドットレブ
ホン。ミノルカ。

伴田式項卵器、假器其他

神田區表神保町十番地角

旅館旭樓本店

電話本局(長一二八二番) 四三二九番

東京株式取引仲買人

日本橋區坂本町十七番地

南波禮吉

特浪花四三三番一〇〇七番
浪花四一八番特長四四四番

株式会社報御申越次第進呈可致候

谷林小兵衛商店

明治三十七年三月免許
日本橋區兜町三番地

浪花 五二一 五三二
七七二 九八九

(クカルマ)



商標 東京株式所仲買人 (明治三十年創業)

菴原商店

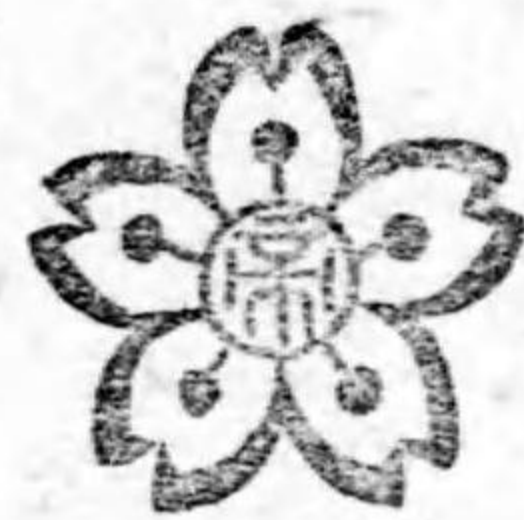
店主 菴原柳次郎
日本橋區兜町參番
電話浪花(長)二百〇六番
(二千六百七十番)

井

井手復次郎商店

明治四十二年四月免許
日本橋區南茅場町四番地

浪花 三三二 三三一
長 三二二 三二一



帝國火災保險株式會社
 東京市日本橋區吳服町三十二番地

社 長 小原達明 八千代生命保險株式會社社長
 專務取締役 稻茂登三郎 尾三農工銀行頭取
 取締役 伊藤義平 鹿兒島農工銀行頭取
 折田兼至 千葉縣農工銀行頭取
 字佐美敬三郎 大阪府農工銀行頭取
 大谷吟右衛門 兵庫縣農工銀行頭取
 弘世正二郎 京都府農工銀行頭取
 田中數之助 福島縣農工銀行頭取
 加藤寬六郎 土佐農工銀行頭取
 山本忠秀

東京市日本橋區坂本町七番地

合資會社
 田中銀行

電話浪花壹九九番
 特長貳四〇番

御旅館

船大縣足利町通り二丁目

初谷本店

電話一八三番

東京神田郵便局脇

初谷支店

電話神田特長一三七〇番
 一三七一番

▲流行の大本は

伊 吳

町籠旅田神京東

▲東京の名物は

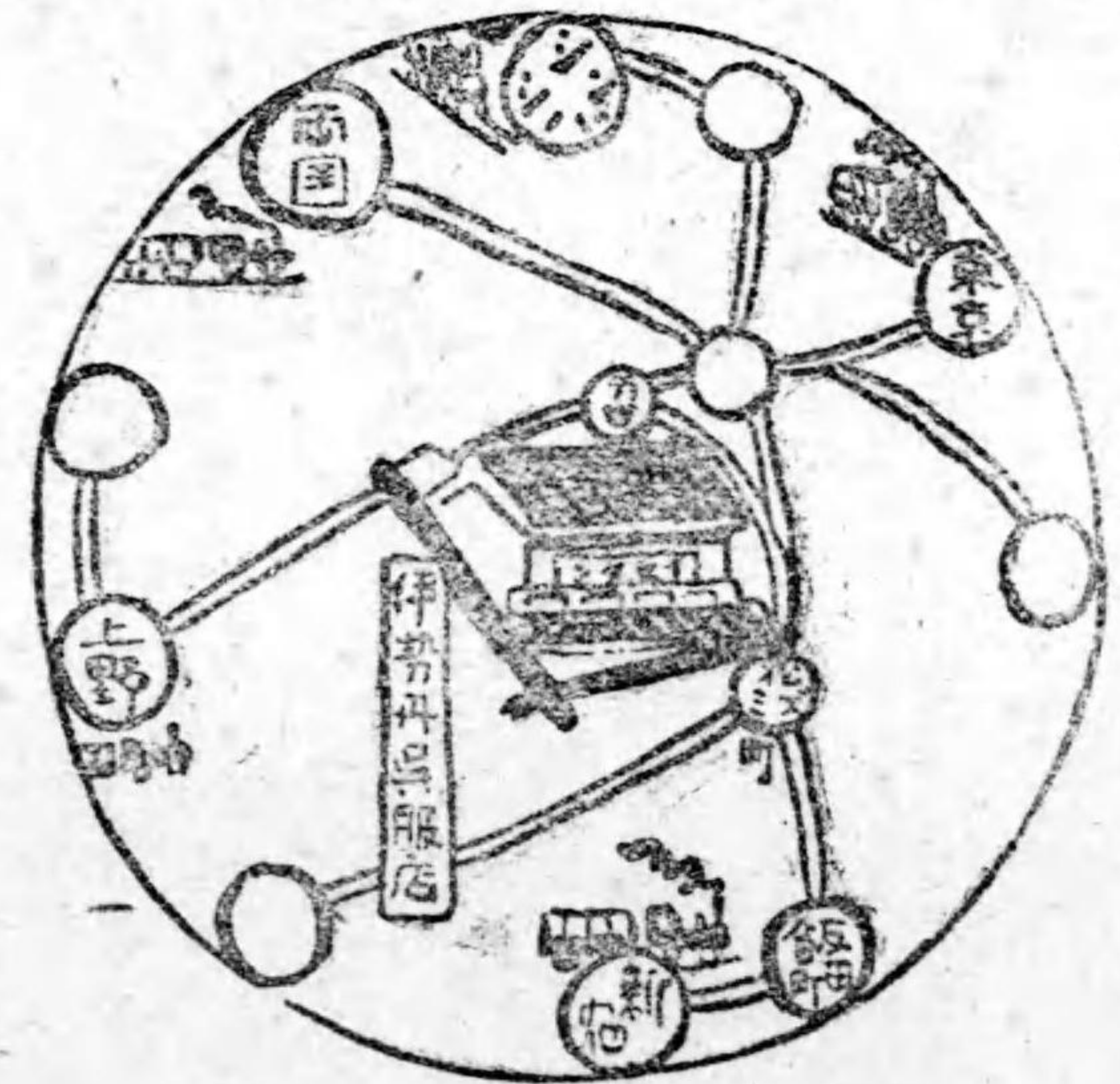
勢 服

七八五京東替派

▲婚禮の支度は

丹 店

七八五京東替派



内市のりよ場車停各京東
るま集に丹勢伊く悉車電

麻布二の橋停留場際

永樂軒 待合 尾花
玉突の隣

田中まさ子

外神田講武所

待合 重の家

(電話下谷三五二五番)

龜井戸町天満宮鳥居内

待合 梅若

やまもと

飯田川岸

待合 柳屋

伊藤とら子

電話番号(二三八二番)

元和二年創業 千葉縣 銚子町 銚子醤油合資會社釀造

宮内省御用 銚子醤油



□御得意様から賞讃味といふ位をいただきました。

東洋唯一の三井銀行

東京の中央日本橋區駿河町に本店を有する三井銀行は我が國に於ける私立銀行の嚆矢で其の起源は遠く今を去ること二百三十餘年前實に延寶六年である初め三井組と稱して兩替店と爲替とを營んだのが抑もの始めてあつて更に明治九年には資本金二百萬圓を以て私立三井銀行と改稱し、爾來年と共に業務の擴張を爲し明治四十二年十月には資本金二千萬圓（全額拂込濟）の株式組織に變更したのである、營業の確實なるは云ふ迄もなく現今に於ては實に民營銀行中の巨擘であつて、準備金の如きも千二百五十五萬圓の多きに達して居る、社長は三井高保氏、重役には池田成彬、米山梅吉、菊本直次郎、三井守之助、早川千吉郎、福井菊三郎、間島茂吉、三井得右衛門、波多野承

(1)

元和二年創業 千葉縣 銚子町 銚子醤油合資會社釀造

宮内省御用
ヒゲタ醤油



□御得意様から賞讃味といふ位をいたゞきました。

東洋唯一の三井銀行

東京の中央日本橋區駿河町に本店を有する三井銀行は我が國に於ける私立銀行の嚆矢で其の起源は遠く今を去ること二百三十餘年前實に延寶六年である初め三井組と稱して兩替店と爲替とを營んだのが抑もの始めであつて更に明治九年には資本金二百萬圓を以て私立三井銀行と改稱し、爾來年と共に業務の擴張を爲し明治四十二年十月には資本金二千萬圓（全額拂込濟）の株式組織に變更したのである、營業の確實なるは云ふ迄もなく現今に於ては實に民營銀行中の巨擘であつて、準備金の如きも千二百五十五萬圓の多さに達して居る、社長は三井高保氏、重役には池田成彬、米山梅吉、菊本直次郎、三井守之助、早川千吉郎、福井菊三郎、間島茂吉、三井得右衛門、波多野承

(1)

五郎、金塚仙四郎の諸氏何れも當代第一流の錚々たる實業家を以て網羅し確實無比日に月に隆盛を極めつゝあり。

鑛泉王三ツ矢サイダー

▲三ツ矢印の光榮清料飲料の革命と云れてゐる三ツ矢印飲料が先づ各宮殿下御用品として御買上の光榮に接してゐる事は申すまでもない事ながら、其他日英博覽會、聖路易萬國博覽會、伊太利萬國博覽會、獨逸萬國衛生博覽會等に於て驥多の賞牌を受領したるを首め内外公設機關より莫大の聲望を受けてゐる事は特に誇りとする所で、吾邦の清涼飲料中斯の如き最高の名譽と信用を有するものは三ツ矢印の外には求められないのである。

▲源泉と構成分 三ツ矢印飲料の源泉は兵庫縣川邊郡多田村の内平野村工場

の北端に在る。山紫水明の幽谷の中から天然炭酸瓦斯と共に噴出する無色無臭澄明の亞爾加里食鹽泉であつて鐵分を含有し其の噴出量は一晝夜に一萬五千石に達してゐる。而して固形總量一千分中の構成分はクロールナトリウム、六八一、硫酸カルシウム〇、〇二二、炭酸ナトリウム〇、五五五、炭酸カリウム〇、二二五、炭酸カルシウム〇、八六七、炭酸マグネシウム〇、七六四、酸化鐵及礬土〇、〇一〇、珪酸〇、〇一〇、遊離及半合炭酸四、六二〇、等て今之を海外諸國に於ける有名な鑛泉と比較する時は獨逸ドクトルツエノツホ氏分析の結果に依れば、同國の有名なエムセル泉及びセルラル泉と殆んど同一成分を有し又世界に於いて鑛泉王と稱せらるゝアポリナリスに比較するも鐵分の含有量少しく多き以外には他に毫も異なる所がない。蓋し三ツ矢平野水が世界各

國に於ける萬國博覽會に於いて悉く名譽又は金牌を受領したのは偶然では
ないのである。

▲三ツ矢鑛泉の沿革 明治十四年英國の理學者ガラン氏が此の源泉を發見し
以後三菱、明治屋磯野氏等の手を経て明治三十八年現在の帝國鑛泉株式會
社の經營となつたのであるが、其後改良に伴ひ飲料水の需要俄かに増加し三
ツ矢印の名聲頓に高まり、今日同社は一ヶ年約二千五百萬本を販賣するに至
つた。

▲工場の設備 の完全な事は理想的で殊に藥學博士、理學博士、長井長義先
生が同社の顧問として諸般技術上の指道をなして居る事も三ツ矢印飲料の純
良無比なるを裏書して居るのである。

● 伴傳商店の特色

日本橋通一丁目近江屋伴傳商店の蒲團、銘仙、セル地、毛布等が優良にし
て價格が格安である事は顧客に評判の事實である。殊に同店の商品は凡て元
産地に直接製造工場を有し、一切問屋の手を経る事なく、客の好みに應じ
流行に遅れず製造したものを直ちに發賣する爲め廉價で而も品物が何れも優
秀なる所以である。夜具座布團の中綿が純良保險附なのは他店に其の比を
見ない所である。又同店の特色とする所は得意の便利の爲め東京市内ならば
無賃にて賣品を即時に届出で、地方の客筋に對しては特に地方係を擴張し
て誂品の仕立荷造發送に至る迄迅速丁寧を旨としてゐる、カタロクも送るか
ら如何なる遠隔地にあつても坐ながら流行の珍品を格安に速かに調達する事

が出来る。

製車界の權威耐久車軸

の大發明と川口製車場の成功

川口製車場は神田區東紺屋町に數十年の古い歴史を有する老舗で且つ本邦製車界の權威である。店主を川口金太郎氏といつて、憲法發布の明治二十二年に始めて製車業を開始し、爾來四輪車及荷馬車の發明をして賞讃を博し最近更らに耐久車軸といふ大發明を以て海の内外を驚倒し、盛んに夫れを製造販賣して今や斯業の泰斗と仰がれつゝある。從來

氏が斯の大發明を成就した動機には實に慘憺たる苦心が籠つてゐる。馬車其他耐久力の強い車軸は總て外國品を仰いでゐたが、常に原價が高いば

かりでなく、注文してから到着する迄に多大の日子を費して諸官省其他一般顧客に對し往々納期延引の虞れがあるので、氏は斷然國產自給の方針を立て明治卅九年以來夫れに没頭して研究に研究を重ね、屢々寢食を廢するの苦楚を嘗めて遂に完全無缺なる耐久車軸を製出するに至つたのである。氏の功勞は實に製車界のみならず、我發明界の總てを通じて特筆大書す可きもので今や宮内省、遞信省、東京府廳を始めとし諸官省の御用を勤め、數百人の職工が晝夜間斷なく製造に忙殺されてゐるのは決して偶然でない。

精巧堅固なる諸車を最も迅速に調製する點に於て、同店の右に出づるものは恐らくあるまい、氏の工場は曾で先年都新聞社主催東京七名物大投票にも最高點で當選し名譽の月桂冠を得。

●最も確實な明治火災

自己の財産の安全を期するには火災保険を以て先づ最も大切なものとする
我が明治火災保険株式會社は壹百萬圓の資本金を有し、諸積立金（大正六年
三月三十一日調査）六百七萬六千圓、契約保険金五億二百十六萬三千圓損失
辨償金壹千二十七萬六千圓を算し明かに會社の基礎の鞏固にして營業の適順
なる事を表明してゐる。同社が火災保險會社として被保險者に對し懇切丁寧
を極め諸事悉く被保險者本位を旨として純益を計つて居る事は世間周知の事
實で今更蛇足を加ふるまでもない。又其の營業方針を見るに他社に優り精細
綿密を極めてゐる、事は斯界に多大の信用を博してゐる所以である。尙ほ詳
細を知らんと欲せば規則書は申込次第送呈せらるゝ筈である。

●世界的の富士紡績株式會社

紡績界の霸王富士瓦斯紡績會社の堅實なる基礎と近來の大發展は實に驚ろ
くべきものがあるが、試みに最近半期の報告に徴するに生産高は綿絲六萬三
千七百九十六捆、絹紬絲十七萬六百十貫、輸出製綿六萬六千八百三十三貫、絹織
布八十七萬七千四百九十九碼、綿織布八百五十三萬四千三百五十九碼である、而
して同社の製品は今や内外の必需品として常に製造は需要に追はれ社業益々
繁劇を呈し、隆運の域に達してゐるのである。殊に最近印度方面に於ける綿
絲布の大需要が殺到し、並びに原棉商と相俟つて人氣頓に上り、絹絲布又取
引旺盛を極め殊に富士絹は濠洲方面及英國からの注文が輻輳してゐる有様で
ある。綿布も亦印度方面の注文を得て好氣配を呈してゐる。